

第2回 洲本市公共施設等再編整備検討委員会 次第

日 時 令和2年7月13日(月)
13時30分～
場 所 市役所本庁舎4階
災害対策室

1. 開会
2. 洲本市公共施設等マネジメント委員会委員長(浜辺副市長)挨拶
3. 洲本市公共施設等再編整備検討委員会委員長挨拶
4. 新規就任委員紹介
5. 協議事項
 - ①市民交流センター、五色中央公民館及び五色庁舎倉庫等の取扱いについて
 - ②市民交流センターにおけるプールの取扱いについて
 - ③淡路文化史料館の取扱いについて
 - ④その他の施設について
6. その他
7. 閉会

洲本市公共施設等再編整備検討委員会委員名簿

R2.4.28～

(敬称略)

区分	所 属	役職	氏 名
学識経験者及び有識者	公立大学法人大阪 大阪市立大学大学院	教授	遠藤 尚秀 エントウ ナオヒデ
	国立大学法人 徳島大学大学院	教授	小川 宏樹 オガワ ヒロキ
	公益財団法人 日本生産性本部	課長	佐藤 亨 サウ トオル
	税理士	—	中野 かおり ナカノ
関係団体の長 又は当該団体 から推薦を受け た者	洲本市連合町内会	会長	丸山 正 マルヤマ ショウ
	洲本市老人クラブ連合会	会長	中村 尚義 ナカムラ ヒサヨシ
	洲本市民生委員児童委員連合会	会長	安倍 敏明 アベ トシアキ
	洲本市PTA連合会	会長	佐竹 淳司 サタケ アツシ
	洲本商工会議所女性会	会長	豊島 あゆみ トヨシマ
	五色町商工会青年部	部長	安家 一秀 ヤスカ カズヒデ
公募の市民	公募委員	—	山口 雄治 ヤマグチ ユウジ
	公募委員	—	徳重 正恵 トクシゲ マサエ

○現時点の市の個別施設の方針案について【複合化・機能移転を伴う主な取組方針】

取組方針	現状		対象施設	取組の流れ	取組後		備考	
	施設名	面積			施設名	面積		
複合化・建替	1	洲本中央公民館		↑	洲本中央公民館	1	洲本中央公民館は建替	
	138	選挙管理委員会倉庫			(旧益習館庭園管理機能を備える選挙管理委員会倉庫機能を含める)			
機能移転・除却	200	益習館跡		↑	益習館跡	200	五色中央公民館・第2庁舎の建物は除却 五色中央公民館・第2庁舎跡地はバスセンター及び駐車場に転用 五色庁舎倉庫(旧老人福祉センター-高田屋荘)の建物は除却 中山間総合活性化センターは現状維持	
	8	五色中央公民館	公民館		94	五色庁舎		2階
	94	五色庁舎(第2庁舎)	子育てセンター 放課後子ども教室		142	青少年センター(五色)		2階
	140	五色庁舎倉庫(旧老人福祉センター-高田屋荘)	ぴゅーぱる(適応教室) 都志公民館 倉庫		31	中山間総合活性化センター		
					134	副市長公舎		
機能移転・除却	8	五色中央公民館	公民館	↑	五色庁舎	2・3階	五色中央公民館・第2庁舎の建物は除却 五色中央公民館・第2庁舎跡地はバスセンター及び駐車場に転用 五色庁舎倉庫(旧老人福祉センター-高田屋荘)の建物は除却 中山間総合活性化センターの講堂は除却	
	94	五色庁舎(第2庁舎)	子育てセンター 放課後子ども教室		142	青少年センター(五色)		2階
	140	五色庁舎倉庫(旧老人福祉センター-高田屋荘)	ぴゅーぱる(適応教室) 都志公民館 倉庫		134	副市長公舎		
	31	中山間総合活性化センター	講堂		31	中山間総合活性化センター		講堂除却
	9	鳥飼公民館			131	防災センター-鳥飼会館		
機能移転・除却	13	相川集会所	(旧上灘会館2階)	↑	上灘出張所	92	旧上灘会館は除却	
	115	上灘分回相川機具庫	(旧上灘会館1階)					
建替・機能移転・除却	35	市民交流センター	プール	↑	市民交流センター	35	プールは建替が移設(完成後、洲本地域の学校プールは廃止) 陸上競技場は存置(島内他所に代替施設が出来れば廃止検討) 野球場は代替施設を検討(洲本地域は候補地検討、五色地域は五色県民健康村グラウンド) 体育館・ホール・会議室は除却	
			陸上競技場		陸上競技場			
			野球場		グラウンド			
			体育館・ホール・会議室		洲本市内に野球場の代替候補地検討			
建替・機能移転・除却	35	市民交流センター	プール	↑	市民交流センター	35	プールは建替が移設(完成後、洲本地域の学校プールは廃止) 陸上競技場は計画期間内に廃止 野球場は五色県民健康村グラウンドへ移転 体育館・ホール・会議室は除却	
			陸上競技場		陸上競技場廃止			
			野球場		グラウンド			
			体育館・ホール・会議室					
機能移転・除却	83	五色県民健康村トレレニングセンター	体育館(リハビリ機能)	↑	定往・交流センター	11	体育館は除却 テニスコートは廃止 その他の建物は現状維持	
			テニスコート		テニスコート廃止			
			会議室棟・倉庫等		五色県民健康村トレレニングセンター	83	会議室棟・倉庫等	

令和 2 年 7 月 13 日

市民交流センター、五色中央公民館及び五色庁舎倉庫等の取扱いについて（複数案あり）
（案）

1 市民交流センター（スポーツ施設） → 個別に検討

施設		築年数	耐用年数	耐震基準	現状	今後の方向性
陸上競技場	事務所	35 年	38 年	新	老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 存続し公認 4 種を維持、建物の長寿命化 ・ 計画期間（10 年）内廃止 ※陸上競技場の設置を県に要望継続
	器具倉庫	34 年	31 年	新	老朽化	
	グラウンド		5 年毎に更新	—		
野球場		35 年	30 年	新	老朽化	① 五色県民健康村トレーニングセンターグラウンドに統合 ② 長寿命化、計画期間（10 年）内廃止 ※教委で洲本地域への移転検討
体育館		41 年	50 年	旧改	老朽化 耐震改修済	廃止 ※文化体育館等を活用
ホール		41 年	50 年	旧	老朽化 耐震性有	
会議室、和室、工芸室		41 年	50 年	旧	老朽化 耐震性有	
プール		31 年	47 年	新	老朽化	長寿命化、長期的には建替え （小中学校の授業で活用することを教育審議委員会で検討）

2 五色中央公民館（集会施設） → 除却

施設	築年数	耐用年数	耐震基準	現状	今後の方向性
公民館	43 年	50 年	旧改	老朽化 耐震改修済	五色庁舎空室(2F) に移転
子育てセンター (妊婦、未就学児等)					① 中山間総合活性化センター講堂に移転 （講堂を長寿命化） ② 五色庁舎空室(2F)、ホール(3F)に移転
放課後子ども教室 (小学生全員対象)					【都志公民館の取扱いと調整】 ① 旧青少年センター（五色）に移転 （旧青少年センターは、耐震性有、97.2%の老朽化比率） ② 五色庁舎空室(2F)に移転

3 五色庁舎倉庫 (その他行政系施設) → 除却

施設	築年数	耐用年数	耐震基準	現状	今後の方向性
都志公民館	44年	38年	旧	老朽化	【五色中央公民館の放課後子ども教室の取扱いと調整】 ① 五色庁舎(2F)の空室に移転 ② 旧青少年センター(五色)に移転 (旧青少年センターは、耐震性有、97.2%の老朽化比率)
倉庫					

(参考)

1 洲本中央公民館(集会施設)/選挙管理委員会倉庫(その他行政系施設)/益習館(その他) → 複合化・建替え

施設	築年数	耐用年数	耐震基準	現状	今後の方向性
洲本中央公民館	51年	50年	旧改	老朽化 耐震改修済	・洲本中央公民館は現地建替え ・選挙管理委員会倉庫は除却し、洲本中央公民館に統合 ・益習館事務室機能を統合
選挙管理委員会倉庫	19年	24年	新	老朽化	
益習館	60~79	4年 中古	旧	老朽化	

2 鳥飼公民館(集会施設)/防災センター鳥飼会館(消防施設) → 機能移転・除却

施設	築年数	耐用年数	耐震基準	現状	今後の方向性
鳥飼公民館	40年	50年	旧	老朽化 耐震性有	鳥飼公民館を除却し、防災センター鳥飼会館に移転
防災センター鳥飼会館	23年	50年	新		

3 上灘会館 → 機能移転・除却

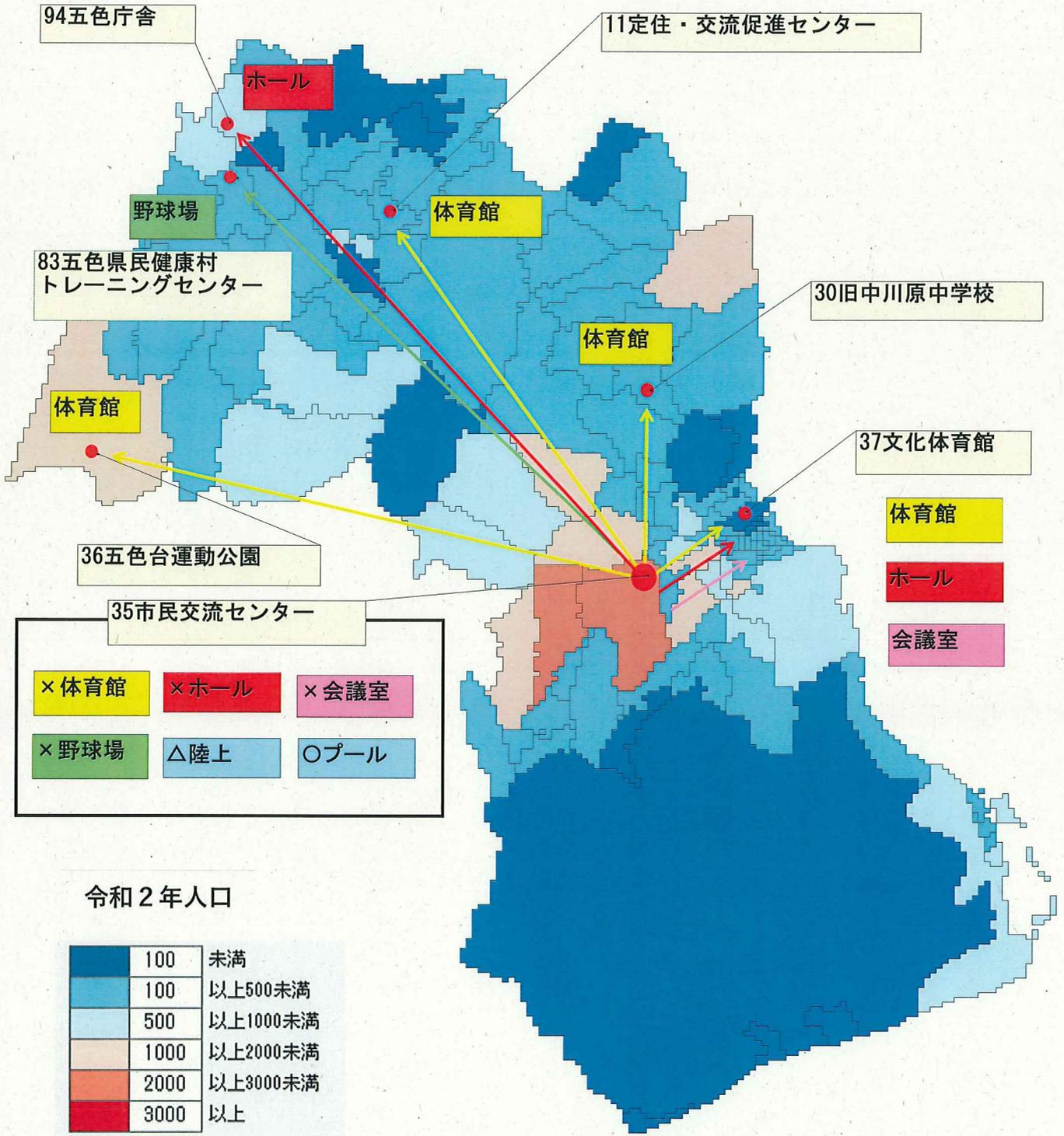
施設	築年数	耐用年数	耐震基準	現状	今後の方向性
相川集会所	44年	47年	旧	老朽化 耐震性有	上灘出張所に移転
上灘分団相川器具庫					

4 五色県民健康村トレーニングセンター → 機能移転・除却

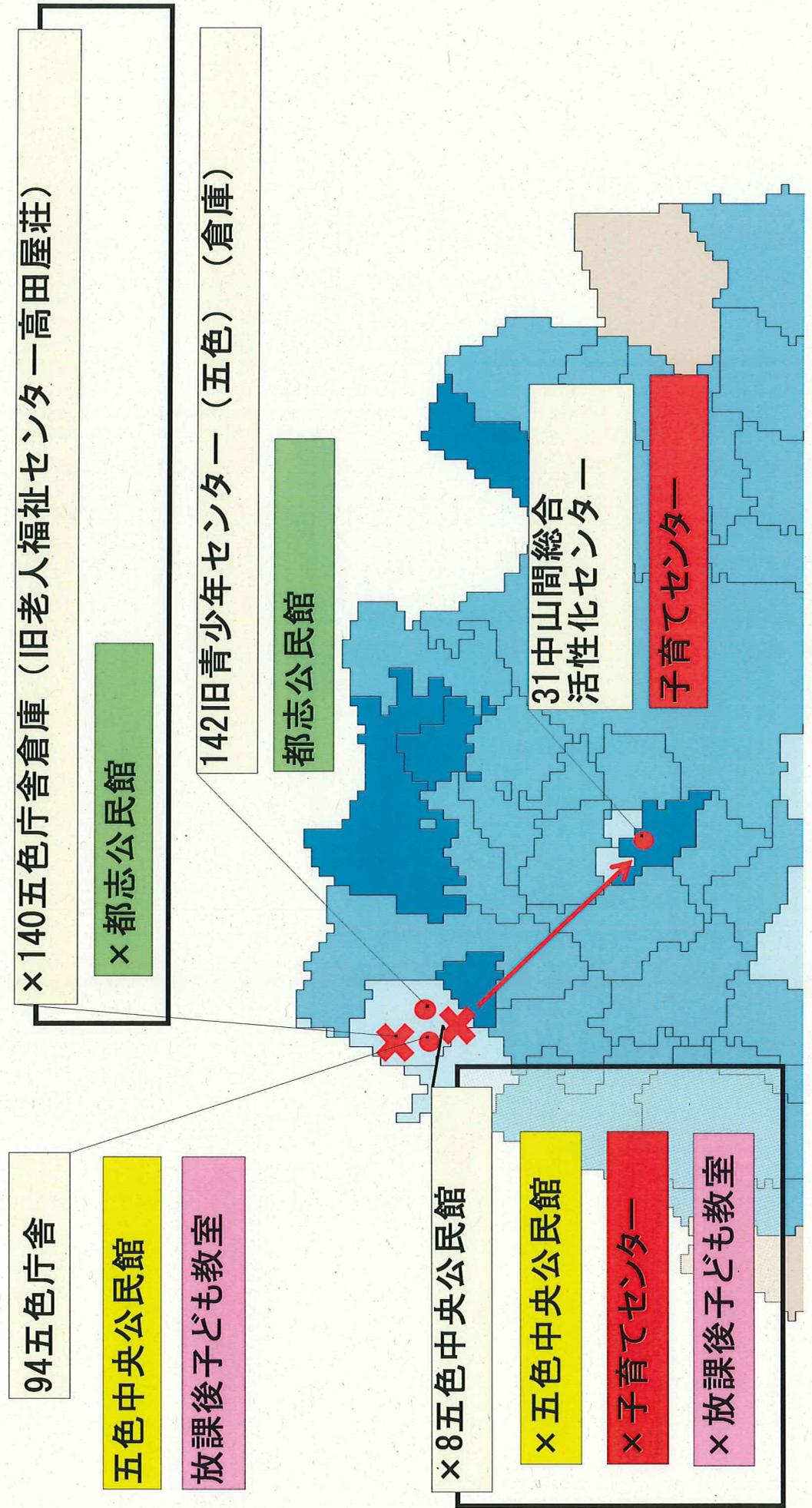
施設	築年数	耐用年数	耐震基準	現状	今後の方向性
体育館	34	47	新	老朽化	定住・交流促進センターに移転後、除却
会議室棟、倉庫	33~35	31~47	新	老朽化	現状維持
テニスコート					廃止

洲本市人口分布図+施設配置図

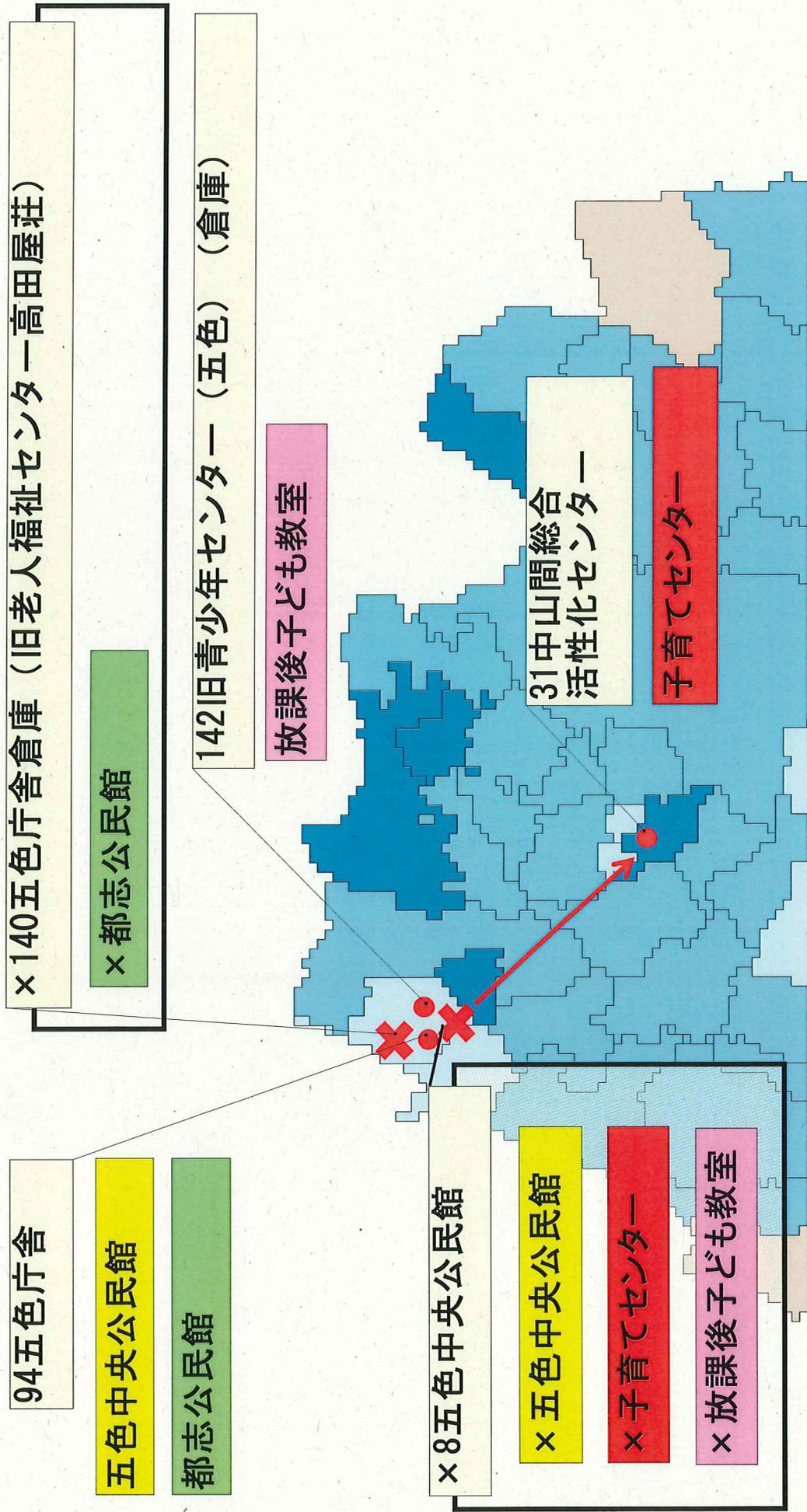
市民交流センターの機能移転先



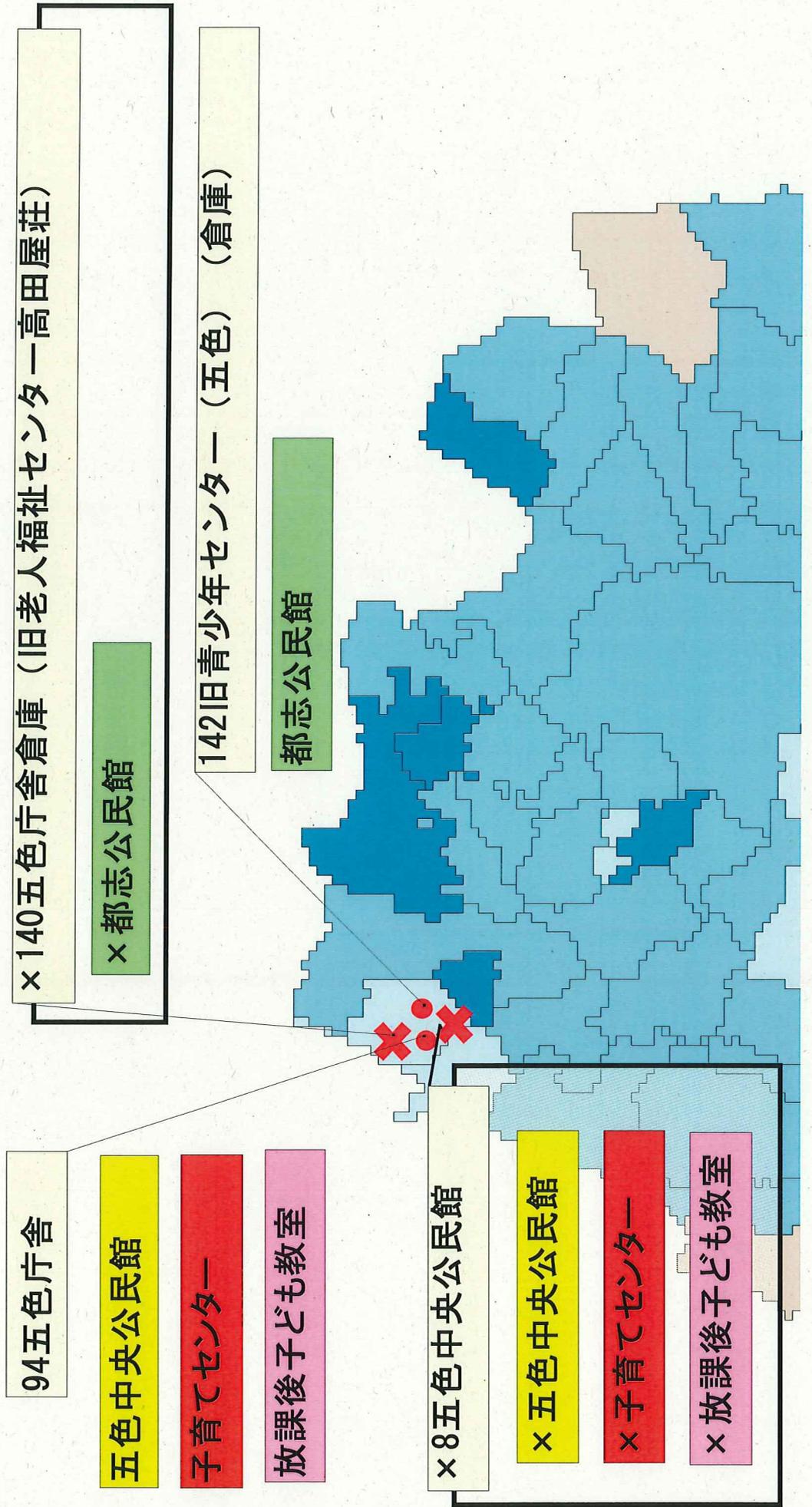
五色中央及び都志公民館の機能移転先 (案1)



五色中央及び都志公民館の機能移転先 (案2)

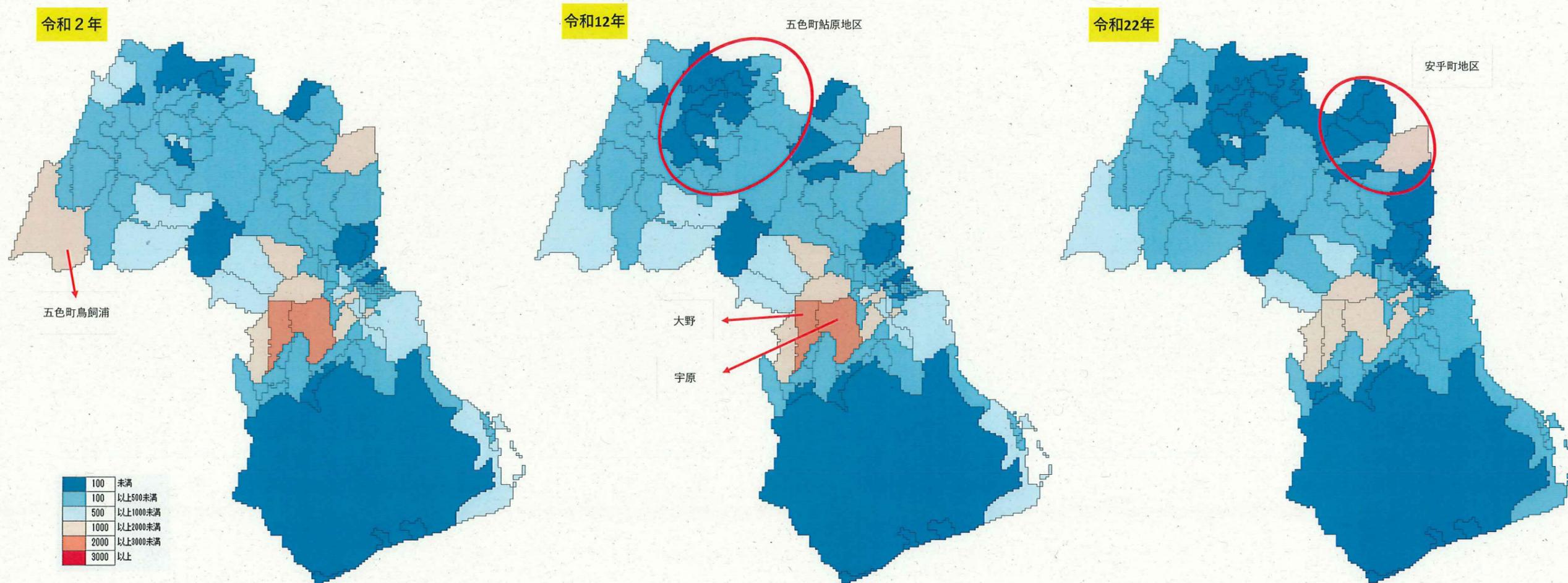


五色中央及び都志公民館の機能移転先 (案3)



洲本市人口分布図

(平成27年までの国勢調査データを基に予測)



国土交通省国土技術政策総合研究所
「将来人口・世帯予測 ツール」活用
(上記は変化率法を採用)

市民交流センターにおけるプールの取扱いについて

1 現状

用途	スポーツ施設	利用者	28,714人 (H30)
所在地	宇原 1788 番地 1	年間費用	124 百万円の一部
老朽度	81.4%	類似施設	なし
築年数	S63	指定避難所	○ (市民交流センター)
耐震性	耐震	運営形態	指定管理

- ・ 現地建替えか移設 (完成後、洲本地域の学校プールは廃止)

2 課題

- 多額の建替費用が発生する
将来の財政収支見込みを見極めた上で建替え時期を要検討

3 方針案

概算事業費：建替事業費 2,307,574 千円(案1,案2)、長寿命化工事費 640,950 千円(案3)

- ・ 事業年度3年間+開業年度7年間の経費 (一般財源ベース) をもとに今後の対応を検討

(案1) 現地建替え ※小学校プールを統合

・ プール除却費	58,851 千円	・ 建替工事費	285,360 千円
・ 小学校プール撤去費	5,214 千円	・ プールバス運行費(6年)	12,600 千円
・ 元利償還金	787,940 千円	・ 指定管理料(7年分)	209,500 千円
・ 維持補修費	50,000 千円	・ 学校プール維持費(3年)	13,245 千円
<u>合計</u> 1,422,710 千円		うち元利償還交付税算入額 331,593 千円	

(50年後の除却まで 5,304,499 千円 うち元利償還交付税算入額 988,724 千円)

(案2) 市有地への移設 ※小学校プールを統合、現時点で候補となる市有地なし

・ 建替工事費	285,360 千円	・ 小学校プール撤去費	5,214 千円
・ プールバス運行費(6年)	12,600 千円	・ 元利償還金	787,940 千円
・ 指定管理料(10年分)	295,000 千円	・ 維持補修費	50,000 千円
・ 学校プール維持費(3年)	13,245 千円		
<u>合計</u> 1,449,359 千円		うち元利償還交付税算入額 331,593 千円	

(50年後の除却まで 5,331,148 千円 うち元利償還交付税算入額 988,724 千円)

(案3) 長寿命化(15年)し、将来的に現地建替えを検討

※建替え時に小学校プールとの統合を検討

・ 長寿命化工事費	80,950 千円	・ 元利償還金	299,236 千円
・ 指定管理料(9年)	266,500 千円	・ 維持補修費	40,000 千円
・ 学校プール維持費(10年)	44,150 千円		

合計 730,836 千円 うち元利償還交付税算入額 130,925 千円

(16年後の除却まで 1,402,517 千円 うち元利償還交付税算入額 280,369 千円)

淡路文化史料館の取扱いについて

1 現状

用途	博物館等	利用者	13,268人 (H30)
所在地	山手1丁目1番27号	年間費用	8,840千円/年
老朽度	100%	類似施設	高田屋嘉兵衛翁記念館
築年数	S43~49 (築46~52年)	指定避難所	×
耐震性	未耐震	運営形態	直営

- ・他の公共施設と複合化して建替えることとするが、現地建替えか移設か、候補地の選定から検討を行う

2 課題

- 適債性の判断
 - ・建替え・移設 : 地域活性化事業債 (充当率90%、交付税算入率30%)
- 現地建替えでは、埋蔵文化財調査費 (約97,152千円) と調査期間 (1年以上) を要する

3 方針案

- ・現時点では、市は当施設の機能を維持し、案1、案2により設置方法を検討
- ・休館を含めて他の公共施設との複合化を検討 (案3)
- ・事業年度3年間+開業年度7年間の経費 (一般財源ベース) をもとに今後の対応を検討

(案1) 現地建替え

- ・施設除却費 60,096千円
- ・埋蔵文化財調査費 97,152千円
- ・整備工事費 158,000千円
- ・施設運営費 62,276千円
- ・維持補修費 50,000千円
- ・元利償還金 476,656千円

合計 904,180千円 (うち交付税算入額 121,779千円)

(50年後の除却まで 2,464,944千円 うち交付税算入額 417,867千円)

(案2) 市有地へ移転建替え ※現時点で候補となる市有地なし

- ・整備工事費 158,000千円
- ・施設運営費 119,640千円
- ・維持補修費 50,000千円
- ・元利償還金 476,656千円

合計 804,296千円 (うち交付税算入額 121,779千円)

(50年後の除却まで 2,365,060千円 うち交付税算入額 417,867千円)

(案3) 休館を含めて他施設との複合化を検討

- ・現時点で複合化の候補となる公共施設なし
- ・方向性が決まるまで施設利用の安全と安心を確保するため、R7から一時休館
 - ・施設運営費 57,364千円
 - ・維持補修費 30,000千円

合計 87,364千円

区分		決算				見込													
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R2~R12計	
歳入	地方税	5,786	5,811	5,882	6,016	5,850	5,766	5,743	5,744	5,751	5,713	5,717	5,728	5,690	5,696	5,705	5,669	62,922	
	地方交付税等	8,110	7,539	7,194	7,242	6,847	6,606	6,104	6,139	5,932	5,989	5,991	5,580	5,593	5,626	5,659	5,712	64,931	
	地方譲与税	180	178	177	179	178	184	184	186	186	187	187	187	187	187	187	187	187	2,049
	地方特例交付金・交通安全対策特別交付金	20	19	20	22	35	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	297
	税交付金	1,039	892	945	976	1,000	1,093	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	12,463
	歳計剰余金処分量	616	431	425	353	230	342	416	453	440	148	0	0	0	0	0	0	0	1,799
	その他の収入	590	400	327	487	175	366	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	3,966
	小計 A	16,341	15,270	14,970	15,275	14,315	14,384	13,971	14,046	13,833	13,561	13,419	13,019	12,994	13,033	13,075	13,092	148,427	
歳出	義務的経費	8,245	8,137	8,008	7,867	7,871	7,945	7,847	7,812	7,674	7,568	7,405	7,233	7,136	7,219	7,205	7,205	82,249	
	人件費	3,405	3,339	3,271	3,150	3,251	3,548	3,501	3,491	3,486	3,485	3,444	3,416	3,413	3,359	3,330	3,315	37,788	
	扶助費	946	1,003	1,047	988	1,118	1,105	1,085	1,074	1,064	1,053	1,042	1,041	1,040	1,039	1,038	1,037	11,618	
	公債費	3,894	3,795	3,690	3,729	3,502	3,292	3,261	3,247	3,124	3,030	2,919	2,776	2,683	2,821	2,837	2,853	32,843	
	投資的経費	886	438	439	501	331	359	454	337	439	457	596	591	396	434	469	419	4,951	
	維持補修費	26	19	17	14	15	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	198
	物件費	2,000	2,099	2,337	2,356	2,412	1,931	1,985	1,931	1,935	1,910	1,923	1,897	1,898	1,882	1,916	1,909	21,117	
	補助費等	1,889	1,665	1,664	2,499	2,386	2,248	2,394	2,373	2,346	2,339	2,339	2,327	2,328	2,348	2,333	2,318	25,693	
	積立金	315	240	215	229	81	171	208	227	220	74	0	0	0	0	0	0	0	900
	繰出金	2,551	2,538	2,777	2,331	1,836	1,816	1,812	1,808	1,803	1,799	1,795	1,783	1,771	1,759	1,747	1,736	19,629	
	その他	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計 B	15,914	15,138	15,458	15,798	14,933	14,488	14,718	14,506	14,435	14,165	14,076	13,849	13,547	13,660	13,688	13,605	154,737		
収支差	差引 C(A-B)	427	132	△ 488	△ 523	△ 618	△ 104	△ 747	△ 460	△ 602	△ 604	△ 657	△ 830	△ 553	△ 627	△ 613	△ 513	△ 6,310	
	基金取崩額 D	300	350	953	920	640	520	1,200	900	750	121	0	0	0	0	0	0	3,491	
	再差引 E(C+D)	727	482	465	397	22	416	453	440	148	△ 483	△ 657	△ 830	△ 553	△ 627	△ 613	△ 513		
基金残高	積立基金残高	6,234	5,894	5,421	5,218	5,781	4,778	3,752	3,042	2,472	2,383	2,341	2,299	2,262	2,268	2,276	2,284		
	うち財政調整基金	3,761	3,716	3,140	2,756	2,355	2,225	1,243	575	47	0	0	0	0	0	0	0		
	うち減債基金	183	185	186	1	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91		
	その他基金	2,290	1,993	2,095	2,461	3,335	2,462	2,418	2,376	2,334	2,292	2,250	2,208	2,171	2,177	2,185	2,193		

※ 試算の前提条件

- ・地方交付税(含む臨時財政対策債)については、R2年度、R7年度に実施される国勢調査による人口減少を反映
- ・公共施設適正化による統廃合・整備・転用などの方針に沿って、必要となる経費は反映済
- ・小中学校の統廃合については、実施時期が未定であるため、効果額は未反映
- ・ふるさと納税については、R3年度以降、毎年15億円の寄附収入を想定し、15億円全額を財源充当
- ・市民交流センタープール現地建替(案1)および淡路文化史料館については現地建替(案1)

区分		決算				見込												
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R2~R12計
歳入	地方税	5,786	5,811	5,882	6,016	5,850	5,766	5,743	5,744	5,751	5,713	5,717	5,728	5,690	5,696	5,705	5,669	62,922
	地方交付税等	8,110	7,539	7,194	7,242	6,847	6,606	6,104	6,139	5,932	5,989	5,991	5,576	5,585	5,616	5,622	5,662	64,822
	地方譲与税	180	178	177	179	178	184	184	186	186	187	187	187	187	187	187	187	2,049
	地方特例交付金・交通安全対策特別交付金	20	19	20	22	35	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	297
	税交付金	1,039	892	945	976	1,000	1,093	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	12,463
	歳計剰余金処分量	616	431	425	353	230	342	416	453	440	48	0	0	0	0	0	0	1,699
	その他の収入	590	400	327	487	175	366	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	3,966
	小計 A	16,341	15,270	14,970	15,275	14,315	14,384	13,971	14,046	13,833	13,461	13,419	13,015	12,986	13,023	13,038	13,042	148,218
歳出	義務的経費	8,245	8,137	8,008	7,867	7,871	7,945	7,847	7,812	7,674	7,568	7,405	7,224	7,122	7,194	7,127	7,103	82,021
	人件費	3,405	3,339	3,271	3,150	3,251	3,548	3,501	3,491	3,486	3,485	3,444	3,416	3,413	3,359	3,330	3,315	37,788
	扶助費	946	1,003	1,047	988	1,118	1,105	1,085	1,074	1,064	1,053	1,042	1,041	1,040	1,039	1,038	1,037	11,618
	公債費	3,894	3,795	3,690	3,729	3,502	3,292	3,261	3,247	3,124	3,030	2,919	2,767	2,669	2,796	2,759	2,751	32,615
	投資的経費	886	438	439	501	331	359	454	337	439	444	489	543	391	434	469	419	4,778
	維持補修費	26	19	17	14	15	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	198
	物件費	2,000	2,099	2,337	2,356	2,412	1,931	1,985	1,931	1,935	1,910	1,923	1,897	1,898	1,882	1,916	1,909	21,117
	補助費等	1,889	1,665	1,664	2,499	2,386	2,248	2,394	2,373	2,346	2,339	2,339	2,327	2,328	2,348	2,333	2,318	25,693
	積立金	315	240	215	229	81	171	208	227	220	24	0	0	0	0	0	0	850
	繰出金	2,551	2,538	2,777	2,331	1,836	1,816	1,812	1,808	1,803	1,799	1,795	1,783	1,771	1,759	1,747	1,736	19,629
	その他	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計 B	15,914	15,138	15,458	15,798	14,933	14,488	14,718	14,506	14,435	14,102	13,969	13,792	13,528	13,635	13,610	13,503	154,286	
収支差	差引 C(A-B)	427	132	△ 488	△ 523	△ 618	△ 104	△ 747	△ 460	△ 602	△ 641	△ 550	△ 777	△ 542	△ 612	△ 572	△ 461	△ 6,068
	基金取崩額 D	300	350	953	920	640	520	1,200	900	650	172	0	0	0	0	0	0	3,442
	再差引 E(C+D)	727	482	465	397	22	416	453	440	48	△ 469	△ 550	△ 777	△ 542	△ 612	△ 572	△ 461	
基金残高	積立基金残高	6,234	5,894	5,421	5,218	5,781	4,778	3,752	3,042	2,572	2,383	2,341	2,299	2,262	2,268	2,276	2,284	
	うち財政調整基金	3,761	3,716	3,140	2,756	2,355	2,225	1,243	575	147	0	0	0	0	0	0	0	
	うち減債基金	183	185	186	1	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	
	その他基金	2,290	1,993	2,095	2,461	3,335	2,462	2,418	2,376	2,334	2,292	2,250	2,208	2,171	2,177	2,185	2,193	

※ 試算の前提条件

- ・地方交付税(含む臨時財政対策債)については、R2年度、R7年度に実施される国勢調査による人口減少を反映
- ・公共施設適正化による統廃合・整備・転用などの方針に沿って、必要となる経費は反映済
- ・小中学校の統廃合については、実施時期が未定であるため、効果額は未反映
- ・ふるさと納税については、R3年度以降、毎年15億円の寄附収入を想定し、15億円全額を財源充当
- ・市民交流センタープールは長寿命化工事(案3)、淡路文化史料館については現地建替(案1)

区分		決算				見込												
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R2~R12計
歳入	地方税	5,786	5,811	5,882	6,016	5,850	5,766	5,743	5,744	5,751	5,713	5,717	5,728	5,690	5,696	5,705	5,669	62,922
	地方交付税等	8,110	7,539	7,194	7,242	6,847	6,606	6,104	6,139	5,932	5,989	5,991	5,574	5,581	5,608	5,605	5,634	64,763
	地方譲与税	180	178	177	179	178	184	184	186	186	187	187	187	187	187	187	187	2,049
	地方特例交付金・交通安全対策特別交付金	20	19	20	22	35	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	297
	税交付金	1,039	892	945	976	1,000	1,093	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	12,463
	歳計剰余金処分量	616	431	425	353	230	342	416	453	440	48	0	0	0	0	0	0	1,699
	その他の収入	590	400	327	487	175	366	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	3,966
	小計 A	16,341	15,270	14,970	15,275	14,315	14,384	13,971	14,046	13,833	13,461	13,419	13,013	12,982	13,015	13,021	13,014	148,159
歳出	義務的経費	8,245	8,137	8,008	7,867	7,871	7,945	7,847	7,812	7,674	7,568	7,396	7,211	7,100	7,161	7,062	7,003	81,779
	人件費	3,405	3,339	3,271	3,150	3,251	3,548	3,501	3,491	3,486	3,485	3,436	3,408	3,405	3,351	3,322	3,307	37,740
	扶助費	946	1,003	1,047	988	1,118	1,105	1,085	1,074	1,064	1,053	1,042	1,041	1,040	1,039	1,038	1,037	11,618
	公債費	3,894	3,795	3,690	3,729	3,502	3,292	3,261	3,247	3,124	3,030	2,918	2,762	2,655	2,771	2,702	2,659	32,421
	投資的経費	886	438	439	501	331	359	454	337	439	424	424	468	391	434	469	419	4,618
	維持補修費	26	19	17	14	15	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	198
	物件費	2,000	2,099	2,337	2,356	2,412	1,931	1,985	1,931	1,935	1,910	1,917	1,890	1,892	1,875	1,909	1,903	21,078
	補助費等	1,889	1,665	1,664	2,499	2,386	2,248	2,394	2,373	2,346	2,339	2,339	2,326	2,328	2,347	2,333	2,318	25,691
	積立金	315	240	215	229	81	171	208	227	220	24	0	0	0	0	0	0	850
	繰出金	2,551	2,538	2,777	2,331	1,836	1,816	1,812	1,808	1,803	1,799	1,795	1,783	1,771	1,759	1,747	1,736	19,629
	その他	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計 B	15,914	15,138	15,458	15,798	14,933	14,488	14,718	14,506	14,435	14,082	13,889	13,696	13,500	13,594	13,538	13,397	153,843
収支差	差引 C(A-B)	427	132	△ 488	△ 523	△ 618	△ 104	△ 747	△ 460	△ 602	△ 621	△ 470	△ 683	△ 518	△ 579	△ 517	△ 383	△ 5,684
	基金取崩額 D	300	350	953	920	640	520	1,200	900	650	172	0	0	0	0	0	0	3,442
	再差引 E(C+D)	727	482	465	397	22	416	453	440	48	△ 449	△ 470	△ 683	△ 518	△ 579	△ 517	△ 383	
基金残高	積立基金残高	6,234	5,894	5,421	5,218	5,781	4,778	3,752	3,042	2,572	2,383	2,341	2,299	2,262	2,268	2,276	2,284	
	うち財政調整基金	3,761	3,716	3,140	2,756	2,355	2,225	1,243	575	147	0	0	0	0	0	0	0	
	うち減債基金	183	185	186	1	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	
	その他基金	2,290	1,993	2,095	2,461	3,335	2,462	2,418	2,376	2,334	2,292	2,250	2,208	2,171	2,177	2,185	2,193	

※ 試算の前提条件

- ・地方交付税(含む臨時財政対策債)については、R2年度、R7年度に実施される国勢調査による人口減少を反映
- ・公共施設適正化による統廃合・整備・転用などの方針に沿って、必要となる経費は反映済
- ・小中学校の統廃合については、実施時期が未定であるため、効果額は未反映
- ・ふるさと納税については、R3年度以降、毎年15億円の寄附収入を想定し、15億円全額を財源充当
- ・市民交流センタープールは長寿命化工事(案3)、淡路文化史料館については建替せずにR7年度から休止(案3)

区分		決算				見込													
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R2~R12計	
歳入	地方税	5,786	5,811	5,882	6,016	5,850	5,766	5,743	5,744	5,751	5,713	5,717	5,728	5,690	5,696	5,705	5,669	62,922	
	地方交付税等	8,110	7,539	7,194	7,242	6,847	6,606	6,104	6,139	5,932	5,989	5,969	5,520	5,517	5,497	5,463	5,462	64,198	
	地方譲与税	180	178	177	179	178	184	184	186	186	187	187	187	187	187	187	187	187	2,049
	地方特例交付金・交通安全対策特別交付金	20	19	20	22	35	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	297
	税交付金	1,039	892	945	976	1,000	1,093	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	1,137	12,463
	歳計剰余金処分量	616	431	425	353	230	342	521	765	832	230	59	99	39	41	12	37	2,977	
	その他の収入	590	400	327	487	175	366	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	3,966
	小計 A	16,341	15,270	14,970	15,275	14,315	14,384	14,076	14,358	14,225	13,643	13,456	13,058	12,957	12,945	12,891	12,879	148,872	
歳出	義務的経費	8,245	8,137	8,008	7,867	7,871	7,923	7,755	7,721	7,581	7,475	7,257	7,019	6,869	6,795	6,632	6,511	79,538	
	人件費	3,405	3,339	3,271	3,150	3,251	3,548	3,431	3,421	3,416	3,415	3,367	3,340	3,337	3,284	3,256	3,241	37,056	
	扶助費	946	1,003	1,047	988	1,118	1,083	1,063	1,053	1,042	1,032	1,021	1,020	1,019	1,018	1,017	1,016	11,384	
	公債費	3,894	3,795	3,690	3,729	3,502	3,292	3,261	3,247	3,123	3,028	2,869	2,659	2,513	2,493	2,359	2,254	31,098	
	投資的経費	886	438	439	501	331	359	374	278	305	313	286	366	283	271	294	301	3,430	
	維持補修費	26	19	17	14	15	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	198
	物件費	2,000	2,099	2,337	2,356	2,412	1,893	1,945	1,893	1,896	1,871	1,879	1,853	1,854	1,838	1,871	1,865	20,658	
	補助費等	1,889	1,665	1,664	2,499	2,386	2,203	2,346	2,325	2,300	2,293	2,292	2,280	2,281	2,301	2,286	2,271	25,178	
	積立金	315	240	215	229	81	171	261	383	416	115	30	50	20	21	6	19	1,492	
	繰出金	2,551	2,538	2,777	2,331	1,836	1,816	1,812	1,808	1,803	1,799	1,795	1,783	1,771	1,759	1,747	1,736	19,629	
	その他	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計 B	15,914	15,138	15,458	15,798	14,933	14,383	14,511	14,426	14,319	13,884	13,557	13,369	13,096	13,003	12,854	12,721	150,123	
収支差	差引 C(A-B)	427	132	△ 488	△ 523	△ 618	1	△ 435	△ 68	△ 94	△ 241	△ 101	△ 311	△ 139	△ 58	37	158	△ 1,251	
	基金取崩額 D	300	350	953	920	640	520	1,200	900	324	300	200	350	180	70	0	0	4,044	
	再差引 E(C+D)	727	482	465	397	22	521	765	832	230	59	99	39	41	12	37	158		
基金残高	積立基金残高	6,234	5,894	5,421	5,218	5,781	4,778	3,805	3,251	3,304	3,081	2,872	2,532	2,336	2,293	2,307	2,334		
	うち財政調整基金	3,761	3,716	3,140	2,756	2,355	2,225	1,296	784	879	698	531	233	74	25	31	50		
	うち減債基金	183	185	186	1	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91		
	その他基金	2,290	1,993	2,095	2,461	3,335	2,462	2,418	2,376	2,334	2,292	2,250	2,208	2,171	2,177	2,185	2,193		

※ 試算の前提条件

- ・地方交付税(含む臨時財政対策債)については、R2年度、R7年度に実施される国勢調査による人口減少を反映
- ・公共施設適正化による統廃合・整備・転用などの方針に沿って、必要となる経費は反映済
- ・小中学校の統廃合については、実施時期が未定であるため、効果額は未反映
- ・ふるさと納税については、R3年度以降、毎年15億円の寄附収入を想定し、15億円全額を財源充当
- ・市民交流センタープールは長寿命化工事(案1)、淡路文化史料館については建替せずにR7年度から休止(案3)
- ・【改修なし】小学校、健康福祉館、高田屋顕彰館、五色台運動公園、五色健康総合福祉センター、五色地域福祉センター、診療所(五色、堺、医師住宅)、文化体育館、情報交流センター、エトワール生石公民館(由良、加茂、千草、中川原、安平、堺)、洲本図書館、由良保育所、高田屋公園、し尿処理施設、大野ひだまり館
- ・【除却なし】スポーツセンター武道場、トレセン

第1回 洲本市公共施設等再編整備検討委員会 議事録

- 1 日時：令和2年2月4日（火） 13時30分～17時00分
- 2 場所：経済交流センター1階ホールA-1・2
- 3 出席者：委員12名中、10名出席
遠藤尚秀委員、小川宏樹委員、佐藤 亨委員、中野かおり委員、丸山 正委員、
中村尚義委員、安倍敏明委員、佐竹淳司委員、山中敬子委員、山口雄治委員
（西野昌孝委員、徳重正恵委員 欠席）
事務局：浜辺副市長、上崎副市長、財務部6名
- 4 傍聴者：一般傍聴者2人、報道関係者1人
- 5 内容：

1. 開会
2. 洲本市公共施設等マネジメント委員会委員長（浜辺副市長）挨拶
3. 委員紹介
4. 委員長、副委員長の選任
5. 委員長挨拶
6. 協議事項
洲本市公共施設等個別施設計画について
①現時点の市の個別施設の方針案について
②現方針案に基づく財政収支見通しについて
7. その他
8. 閉会

(1) 洲本市公共施設等マネジメント委員会委員長（浜辺副市長）挨拶

洲本市の少子高齢化、人口減のペースは、全国よりも大分先行している。インフラ資産は長寿命化を進めるが、公共施設については、維持するにしても、数量、稼働率の面から見直しが必要。市の方針を一旦取りまとめているが、委員の皆さんから忌憚のないご意見を頂戴したい。

(2) 委員長、副委員長の選任

委員長 大阪市立大学大学院 遠藤尚秀 教授
副委員長 徳島大学大学院 小川宏樹 教授

(3) 委員長挨拶

多くの自治体において、公共施設、インフラの老朽化が喫緊の課題となっている。洲本市でも公共施設の個別施設計画を策定されることは意義深いことである。その計画作りに我々委員が参画できることは貴重な経験であり、責任も重大だと痛感している。微力ではあるが、全力を尽くす所存である。各委員の皆さま、ご支援ご協力を切にお願いしたい。

(4) 協議事項

洲本市公共施設等個別施設計画について

- ①現時点の市の個別施設の方針案について
- ②現方針案に基づく財政収支見通しについて

事務局から資料の説明

(5) 協議内容

委員： 洲本市単独でできる問題ではない。将来の洲本市のことだけではなく淡路島としての一つの計画を考えるべきである。少子化が進んでいる中、淡路島全体で学校を統廃合して、子供の学力を上げるなど、そういった視点での改革が必要ではないか。

事務局： 淡路島3市それぞれで行財政運営に取り組んでおり、市単位で対応するのが日本の地方自治の枠組みである。10、20年先を見据えた中で、洲本市の人口、財政状況等、体力に応じた行財政運営を目指していかなければならない。淡路市は5町合併後、すぐに公共施設を整理する方向を示し、学校であれば、原則旧町単位で1校に集約して再編・統廃合を行った。本市は合併以降、統廃合という形での公共施設等の再編をほとんど行えていない。洲本市も、淡路市のようなことをしなければならぬ状況である。

委員： これだけの施設を整理するということは、都市計画と同じように、計画はあるけど、なかなか進まないということもあり得るのではないか。そうなった場合の優先順位はどのように決めるのか。人口減少、高齢化の中で、人口バランスを考えて、施設を除却しようとしているが、まだ使えそうなものもある。地域団体として、部屋を借りようとしてもなかなか空きがない。今ある施設の再利用・有効活用については、どう考えているのか。

事務局： 相手との交渉が必要な再編案もあるが、この計画を確実に早く実行していかなければ赤字に陥る。市全体として取りまとめたもので、全部局が丸丸となって計画の実行に向けて取り組んでいく。優先順位については安心・安全が大前提と考える。老朽化、未耐震の施設から先に手を付ける。①安心・安全、②除却後の土地の有効活用による歳入確保、③除却による支出抑制などを優先的に取り組む。その取り組みの中で、公共施設として不要な施設で耐震性能を満たす施設の地域移管などは可

能だと思う。

委員長： 利用率の低い施設であれば、機能転換や今後の利活用について十分に検討する必要がある。したがって、利用率を十分把握した中で、スクラップ&ビルドする。ハコモノはハコモノ自体に意味があるのではなく、市民がどのような機能を必要として、今後も利用されるのかが問題である。様々な自治体において、公共施設の使い方(機能)が多様化している。現状の名前の付いたハコモノをただ残すのではなく、まず各公共施設の安全性について検証し、次に地域住民が必要としている機能、要らなくなった機能を精査し、現状のハコモノを最大限利用できる計画を策定すべきである。したがって、利用率などの具体的なデータを活用しながら優先順位を付けていくべきである。

委員： 今回の統廃合案は、利用者の声を反映した案となっているのか。案の中で、子育て施設が集約されて、一部離れたところに行く内容になっている。使い勝手が悪くなると利用者は減る。どういった経緯で決められたのか。

学校プールを廃止し、プールの授業時間が減るのはどうか。移動時間のこともあり、利便性の面からはどうか。

陸上競技場が無くなったとき、競技大会はどうなるのか。逆に島外から来てもらって収入を増やすのはどうか。市内では若い人が新しい店を開いており、人を呼び込んでいる。収入と集客、これらの視点を入れてもっと使える施設とすればいいのではないか。

事務局： この案をまとめる中で、それぞれの施設所管課が安全性や利用状況を勘案している。利用者は総論に賛成してくれても、自分の近くの施設、自分が利用している施設が無くなることには抵抗すると思われる。利用者の意見を全て聞いている訳ではない。安全性や利用状況を一番知っている担当者レベルの意見を踏まえて議論し、この案を取りまとめた。

淡路市では各学校のプールを廃止し、バスで送迎している。プールの維持管理には経費がかかる。費用対効果の議論が必要である。学校のプールを残すのであれば経費を捻出するために何かを止めなければならない。

陸上競技場は、存置案と廃止案がある。4種の公認継続のために、5年に1回、5,6千万円の公認経費が必要となる上、利用収入も僅かである。神戸などでの大会に出場しても、地面のラバー(3種)に不慣れなため記録が伸びない。ラバーにするには膨大な整備費と維持費がかかる。トラックだけの収入は小さいため、トラック内にサッカー場等を整備している施設が多いが、それでも維持費を賄えない施設が多い。県内で陸上競技場を市で持っているのは、神戸市と尼崎市など財政規模の大きな市である。あとは県が持っている。3市で持てればいいが、無理なら島外に行ってもらい、交通手段にも踏み込んで協議しなければならない廃止案である。施設があればいいのはみんなが思っている。しかし、維持するのであれば、何かを止める議論が必要である。苦渋の決断をしている。

委員： 南海トラフの津波の心配がある。海岸に近い施設について、災害があることを前提とした場所の選定や高さの考慮が必要だと思う。削減達成率について、洲本市の床面積が全国平均の約2倍という数字を見た。かなり踏み込まないと財政再建団体という悲惨な状況になる。思い切ってもっと踏み込まなければならないと思う。10年間で10%削減の数字を見るとこれでいいのかなと思ってしまいそうだが、コンクリートの耐用年数は50年、木造の耐用年数は30年である。50年先を考えると、人口が半分になる。就学人口はもっと減る。こういう踏み込み方で大丈夫なのかと、逆に心配になる。具体性のない3市合併を想定しても仕方がない。市が単独で進める分については、思い切った案を考えておく必要があると思う。

委員： 財政収支見直しについて、投資的経費に個別施設計画の対策費用を入れ込んでいくとのことだが、一般財源ベースで全て賄うという前提での試算なのか。

事務局： 活用できる地方債と国庫補助金を入れて試算した上で、一般財源のみをここに上げている。

委員： 地方債と国庫補助金を除いた結果がこうなるということか。では、令和4年度には相当厳しい状況になるということになる。

個別施設ごとの方針案の決め方ですが、今は個別施設ごとに見た結論の積み上げだと思うが、公共施設は人の動きが変わるので、エリアの視点で考えることも必要である。この案をまとめる中で、エリアとしてどう在りたいかという視点での議論はあったか。

事務局： コンパクトシティ化という観点で、人が住む地域を集約化していき行政効率を上げるという議論はあるが、そこばかりに囚われると、計画を実行できない可能性がある。エリアごとの方針はもっていない。理想としてはその観点を含めるべきだが、現実をにらんだ上での案としている。あくまで施設ごとに検討した。

委員： 行革なのでどうしても量の削減の議論になるが、一方で積極策も取らないと持続可能性が確保できない。エリアとしてどう有りたいかという議論も必要となる。

委員長： エリアの考え方については、旧自治体の行政区エリアというよりもむしろ、合併して広くなった市のあるべき行政機能を配慮したエリアと中学校区レベルの各コミュニティ・エリアとのバランスを考慮することが望ましい。単に量的削減だけの議論ではなく、より住みやすい魅力のある街づくりをいかに設計するのか、子供や孫の世代にとって受益と負担のバランスがいかにとれるのかという目線を持って、今何ができるのか。結局は将来の街づくりの議論になってくる。以上の視点から具体的なハコモノの整理・再構築が必要となる。

委員： 図書館は大きいのが1つでいいのかなと思う。今でも子供が図書館に通うのは交通手段を含め大変である。集約後、バスで通えるようにするのも代替案だと思う。仮に図書館を洲本地域に残した場合、各公民館に本を置くとか、インターネットで予約して本を各公民館に運んでもらって、1、2日後に届くようにするか、集約に伴う代替方法はあると思う。集約化は賛成なので、その代替案を考えればいい。

そういう案も含めて考えてほしい。

委員長： 本館としてのハブとなる図書館を設けつつ、分館として公民館などに本を置いてもいい。「図書館」というハコモノに拘らなくとも、駅や駐輪場、コーヒーショップに誰もが気軽に読める本を置いてもいい。他の自治体でアンケートを取ると民間商業施設と隣接して図書館が欲しいという意見も多い。買い物や子育てのついでに本を借りたいとか。効率的で、住民の方も借りやすいような方法など、今後、話し合いたい。

○洲本中央公民館、選挙管理委員会倉庫、益習館跡について

委員： 中央公民館は海拔 1.6m 地帯にある。建替えとなっているが、津波、避難所、災害対応の建て替えを想定しているのか。

事務局： 津波に関するハザードマップもあり、海拔も分かっている中で、建て替えとなれば当然災害時の対応を踏まえての造り込みが必要になると考えている。

委員： 中央公民館は内町、外町地区をエリアとしていると思うが、将来的に人口がかなり減ってしまう。建物の耐用年数が 50 年としたら、どの程度の規模の建物を建てるべきなのか、現時点ではもっと広い方がいいのかなという思いもあるが、30 年先にその建物を使う人がどれだけいるのかを考えると、先ほど言った踏み込んだ考えも必要のかなと思う。現在、使っている人もいるので、どのあたりにソフトランディングさせるのが難しい。

委員： 公民館は地域住民だけではなく、趣味のサークルでもよく使っている。それを前提とすれば、もう少し立派なものにしてもいいのではないか。使い道も考えて欲しい。

事務局： 中央公民館の利用者の対象範囲は、地区公民館のないところ、内町、外町、潮、物部、上物部、小路谷となる。洲本市全体として、受講者を募集する講座も展開している。この役割については同様の形で、今後も維持していくことが必要だと思っている。

○五色中央公民館、五色庁舎(第2庁舎)、五色庁舎倉庫(旧老人福祉センター高田屋荘)について

委員： 子育て施設について、場所が変わっても移動距離があまり変わらないのなら問題ないと思う。そういう点も含め、最終的に無くしていくべきものはどんどん減らして、集約して 1 か所を活用出来た方がいいと思う。それを前提にどちらの案がベストなのかを確認したい。

○鳥飼公民館、防災センター鳥飼会館について

委員： 特に問題なし

○相川集会所、上灘分団相川機具庫について

委員： 特に問題なし

○市民交流センターについて

委員： 子供が小さいころからスイミングスクールに通っていた。学校のプールは要らないと思う。学校の授業だけでは泳げるようにならない。学校の先生も全てを教えるのは大変だと思う。もし建替えるのなら50mのプールがあったらいいと思う。

委員： プール、陸上競技場、野球場はどんどん集約すべきと思う。交通手段についてはみんな車を持っている。淡路島の中で、洲本市のこの施設は魅力的というものがあれば、島外からでも人が集まってくる。だから、洲本市では、どこにも負けないという施設に集中すべきである。そのためなら、他のところで思い切った決断をしなければならぬと思う。

委員： ビバホールが無くなる案である。大野地区の集会所は大野公民館しかないが、100人で一杯になる。それ以上はビバホールを使っていた。新しい建物を建てて欲しいとは言わないが、他に使える場所が必要だと思う。

事務局： 五色庁舎の3階にホールがある。市全体として見れば、機能として代わりうるホールがある。

副委員長： プールの集約化は他市でもやっている有効な手段の一つである。プールは民間に運営を委託するとか、自治体が持たないという手もある。一定人口がいるところであればプール自体を民間が建てて授業のときだけ市が借りる方法もある。人口が少ないところであれば、市が建設して運営を民間に委託するとか、大きな温水プールにしておくと365日稼働して、休日は民間が運営して収益を上げる。収益を上げる仕組みも入れておけば、究極、自治体の負担が0、もしくはプラスになることもある。

○五色県民健康村トレーニングセンターについて

意見なし

委員長： 次回以降、委員会で議論を深めるためには、各委員が施設の現状を十分把握しておく必要がある。そこで、施設の現地調査を実施したいと思うので、事務局と調整しながら、現地調査の日程を調整したいと思う。

(6) その他

事務連絡 次回の開催は5月としたい。

以上

洲本市公共施設現地調査の各委員の感想

※一部を要約しています。

令和2年6月11日実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・現物をみることで、実感が沸いた。全体として、民間無含めた機能重複の施設や、文化施設など本来の機能が残念ながら十分にいかせていない（利用されていない）ケースも見受けられた。ハードの見直しと共に、施設機能の複合化、特色ある地域のゾーニングの見直しなどを進めて頂きたい。 ・財政的な制約を考慮すると重複する施設は原則として廃止を考えなければならぬ。 ・各施設の目的を明確にした上で結論を出す必要がある。 ・廃止や機能移転だけでなく交流人口を増やす視点で判断が必要がある（ゾーニングの視点）。 ・運営については原則として民間委託等、PPPの手法を検討する必要がある。 ・更新の場合でもPFIの活用など財政負担の低減を考慮する必要がある。 ・五色地区は特に同様な施設が点在し、利用率の低い施設の多い印象を受けた。人口減少の今、空き状況が一目でわかり予約できるようなシステムや、送迎サービスなども充実すれば、集約化を進めていけるのではないかと。 ・ホールと体育施設が重複している印象。体育館は学校施設も含め、既存施設の有効活用を図ることが望ましい。 ・実際に現地視察でき、非常に参考にあった。総じて五色地域にもつたないくらいに施設が多数あり、どう選択し集中するのか、悩ましいところ。 ・現地を見て参考になった。当地での説明が一考の補助になった。 ・総合的に、耐震できていない施設は除却（移転含め）が望ましく思う。 ・みなさんと一緒に施設を巡ることで、移住者の私にとっては、地域のみなさんの幼いころから、これらの施設がどのような役割を果たしてきたのかを時系列にお聞きすることができ、とても意義のある調査でした。また、現場でスタッフをされている方のお話も聞くことができ、ただ単に建物の耐久性を見るだけでなく、利用者さんと接しているスタッフさん目線で現状をお聞きでき、意義があったと思 	<p>感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツとしては、地域資源として極めて重要ですが、但し、老朽が進み建替えのケースは発掘調査の可能性もあり、また面として観光客の導線確保ができていない（利用者が27⇒29で減少）。どこかに文化ゾーンを組成し、観光客が徒歩や自転車で見られる地域に移設はできないものか。 ・現在の目的であれば他の施設（学校含む）への機能移転で十分。 ・建て替える場合には集客施設としての目的の変更が必要になる。 ・その場合は周辺を含めた面的な見直しと民間活用が必要となる。 ・老朽化が著しく、薄暗く、閉鎖的な印象。来館者数もここ3年をみても、年間13000人程度なので、施設の魅力を向上させる努力をしてはどうか。 ・建物が老朽化しており展示物の保管の方向で展示物の移設、建物の解体の方向。 ・埋蔵文化財保存、立地の観点から、近隣の代替地での立替ができればベストかと思う。 ・現地の建替えはややめ。跡地は観光に資するものを考える。移転先は、大型バスも入れる駐車場が要る。例えば、高田屋公園に移す。 ・外観上見掛けは良かった。展示スペースを拡大し、明るい印象を与える淡路島一体の史料館として郊外に移転し、駐車スペースがあると良い。 ・観光客にまず訪れてもらってから、各名所を巡ってもらいたい貴重な文化施設。利用者は想像以上に多く、認知度は高いと感じた。 ・洲本の歴史、文化を内外に知ってもらえる唯一の施設で必要性は大。 ・現在の場所は立地もよく、駐車場も広いが、遺構発掘調査を考えると移転が必要。 ・こちらは淡路島の歴史や文化を語る上で大切な場所と考える。史料自体が少し前のものになってきているので（特に映像）、建物リニューアルも含め、少し中身も更新性のあるものにしていけたら、より見ごたえのある史料となると感じた。せっかくの貴重な史料ですが、立地の関係で観光の方はなかなか訪れにくいと感じた。館内の照明をもう少し見やすい明るさにできればよりよいと感じた。
<p>施設 No. 29</p> <p>淡路文化史料館</p>	<p>施設概要</p> <p>大展示室、歴史展示室、美術展示室、民俗展示室、直原玉成記念美術館、研修室、文化財収蔵庫</p>	

施設 No.	施設名称	施設概要	感想
		陸上競技場（事務所）	<ul style="list-style-type: none"> ・建物が少なく、倒壊などのリスクが低い。利用状況を勘案しつつ指定管理でなく、住民と利用者が地域での運営を原則とできないか。 ・現在の目的であれば今のスペックは不要、他の施設（含む、学校）への機能統合で十分。 ・建て替える場合には運動の拠点としての目的の変更が必要。 ・拠点にするかどうかは政治的な判断。 ・代替施設の確保、移設。 ・利用者の他施設への移動手段を確保した上で、維持費などを考慮して廃止すべきだと思う。 ・島内唯一の400mトラック。陸上界としては要るように思うが、洲本市が維持すべきかは疑問。佐野運動公園に設置してもらえよう3市から要望する。 ・近代的な競技場としての設備が乏しく老朽化を感じた。 ・継続管理には経費がかかるが、子供達の運動能力意識向上のためにも、ぜひ残してもらいたい。より機能を高め、島内唯一より随一を保って欲しい。 ・全体的に塗装や手洗い施設も含めて修繕が必要と感じた。利用率に対する維持費の高さをどのように解決するかが課題。
		陸上競技場（器具倉庫）	
		野球場	<ul style="list-style-type: none"> ・野球場としての代替地（旧三洋電機の跡地など）があれば、不要ではないか。 ・老朽化は著しいが、利用率は高く、必要な施設なので、充実させ維持する方法を検討することが必要だと思う。 ・中学生・社会人etc、利用者は多い。メンテしながら使用。他に施設ができれば、その時改めて検討してはどうか。 ・代替施設の確保、移設。 ・ボード等、外観上老朽化を感じる。 ・観覧設備の近代化増設が必要だと思う。 ・五色健康村グラウンドと比較しても、観客席、夜間照明等が優れているので、ぜひ塙や壁を修繕して利用したい。 ・植物の成長の影響で、ひび割れがみられたので、改善策を考える必要がある。佐野運動公園だけでなく、貴重な野球場なので、利用料金を少し調整してでも、何とか残す方法を模索したい。
35	市民交流センター	体育館 ホール 会議室・和室・工芸室	<ul style="list-style-type: none"> ・他の代替施設も考慮しつつ、中期的には除却でよいのでは。 ・類似する機能は市内に点在しており基本的に不要。 ・市としてどこにどの程度このような施設が必要かを判断する必要がある。 ・体育館の稼働率の高さに驚いたが、老朽化は著しい。少子化で利用率の低くなってきている小・中学校などの他施設を利用するなどすれば対応できるのではないか。 ・代替え施設の確認、撤去後の利用計画。 ・体育館は利用者があるようだが、建物が古いため、他の施設で代替えできる。除却する方向か。 ・施設としての老朽化を感じる。他の施設を活用し撤去すべきと思う。 ・収容人数や体育館会議室の利用料等、洲本地区市民にとって利用しやすい施設だが、安全面を考えると仕方ない。 ・バレーボールなどで利用されている方が多いので、並行してどのようなように修繕をしていくかのスケジューリングと予算計画が重要と考える。

施設 No.	施設名称	施設概要	感想
		<p>プール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均的な利用率も低くなく、健康維持や義務教育（小学校）との共用を目標にいれて、費用対効果を考慮し立替え（キャパアップも含めて）を検討してはどうか。 ・民間の活用範囲をさらに拡大すれば改善が見込まれるのではないかと。 ・老朽化は著しいが、利用率は高く、必要な施設なので、充実させ維持する方法を検討することが必要だと思う。 ・市内小中学校のプールを統合して新築・改修が良いかと思う。 ・現状施設の運営、その後の計画で存続。 ・室内プールは、あった方がよい。市民の健康維持を目指して利用者増を企画し、収益増を目指す。 ・近代的なプールとして建替え、年間を通じ、小・中学校が利用できるようにすると良い。 ・体育館と同じく、スクールや健康維持で利用されている方が多いので、並行してどのような修繕をしていくかのスケジューリングと予算計画が重要と考える。 	
8	五色中央公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館等の施設を除却後、一帯を屋外総合運動公園等として整備しては。 <p>1階和室（東）、1階和室（西）、視聴覚室調理室大会議室、小会議室子育てセンター、放課後子ども教室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・機能移転を前提として、除却を検討していくべきである。 ・類似する機能は市内に点在しており基本的に不要。 ・市としてどこにどの程度このような施設が必要かを判断する必要がある。 ・必要なスペースを確保しつつ、集約化して移転できればよいと思う。 ・公民館機能は、五色庁舎2Fへ。 ・撤去して、他の遊休施設への移転が望ましい。 ・庁舎に移動とのことですが、ちよっとスペースが足りないと感じた。機能を残しながら、間取りを工夫してマルチに使える場所に集約できる方法を考えたい。
94	五色庁舎 庁舎、3階ホール	<p>放課後子ども教室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・機能は必要であり、場所の移転を検討すべきである。 ・周辺に機能移転すれば不要。 ・施設としては必要。中山間センターへ移転でよいかと思う。 ・撤去して、他の遊休施設への移転が望ましい。 ・機能は必要であり、場所の移転を検討すべきである。 ・周辺に機能移転すれば不要。 ・五色庁舎2Fへ。公民館利用者との分け方を検討。 ・撤去して、他の遊休施設への移転が望ましい。 <p>3階ホールは、利用料金は比較的リーズナブルだが、ハード面でかなり劣化している。多くの利用者が利用できるように、今できるだけ市民が主体的に運用できる体制を構築すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てセンター、放課後子ども教室の移転先とするのが適当。 ・バスセンターは土地の等価交換等、現在の土地・施設を活用できないか。 ・現状の施設の利用状況の多様化。 ・2Fは公民館と放課後子ども教室で活用。3Fは多目的利用できるもので、現状のままでよいかと思う。 ・現設備を有効に活用するPRを行う必要あり。ただし旧洲本市からは少し速く感じる。イベント時の交通手段を考えると良いと思う。 ・五色中央公民館の機能が移るとなると、スペースが足りないと感じた。2階部分も含め、間取りの工夫が必要。 <p>地元の方々の意見を聞きながら、移転・除却するのが相応しいと思う。</p>

施設 No.	施設名称	施設概要	感想
83	五色県民健康村トレーニングセンター	<p>体育館(リハビリ機能)</p> <p>運動広場</p> <p>テニスコート</p> <p>会議室棟・倉庫等</p>	<ul style="list-style-type: none"> 立派なバレエコーターの隅でリハビリ器具が設置され、中途半端なイメージもあった。体育館自体は素晴らしいものの、ハード面で老朽化がすすんでいるのであれば、除却を検討すべきではないか。 類似する機能は市内に点在しており基本的に不要。 市としてどこにどの程度このような施設が必要かを判断する必要がある。 リハビリ機能だけでの利用はもったいないので、廃止はいたしたくないか。 利用促進のアピール。小改修で利用可能か。 もったいないほどの施設。活用する方策があれば良いのだが。 活用範囲が限られるので、撤去・移設。 不要ではないか。 リハビリ機能がしっかりしているの、医療機関と連携してもっと活用できそう（すでに看護大などと連携しているのはよい活用法と感じた）。 類似する機能は市内に点在しており基本的に不要。 市としてどこにどの程度このような施設が必要かを判断する必要がある。 きちんと見ていないが、会議室棟・倉庫は廃止できないか。 総じて利用されていないので、他の活用を探るほか、集約して除却も考えてみる。 建物を撤去、市民球場として拡張利用を考えてはどうか。 グラウンドは周辺の整備に費用がかかりそう。 利用可能な状況。 不要ではないか。 今回はあまりちゃんと見れなかったが、もっと市民に活用してもらいたい。 テニスコートは必要か。
28	五色図書館（えるる五色）・鮎原公民館	<p>開架室、お話し部屋、会議室1・2、図書館会議室、和室、多目的室、調理室、図書館事務室</p> <p>公民館事務室、開架書庫、スタッフラウンジ、倉庫、エントランス</p> <p>鮎原公民館</p>	<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化・改修をおこない、図書館の資本・レファレンス機能に子育て支援など、機能の複合化を視野に入れてはどうか。 民間の活用範囲をさらに拡大すれば改善が見込まれるのではないか。 立派な施設。子供・住民にもっと本を読む働きかけを。 地域のため、利用・活用方法を考えてはどうか。 五色地区の方に広く利用されている様子で、子供達の作品の展示等、親しみやすく工夫されていて、改修しながらの利用が良いと思う。 現在の規模の維持 素晴らしい図書館。このような子供の学びの施設に予算をしっかりと使い、利用率を上げていくことは重要と考える。子供だけでなく大人も楽しめる入口（きっかけ）づくりをさらに検討したい。
11	定住・交流促進センター	<p>アリーナ614㎡（バレエホール1面、ソフタバレー2面等）会議室1室、小会議室1室、男女別更衣室、シャワー室、男女別トイレ、身障者用トイレ、備蓄倉庫及び器具庫</p>	<ul style="list-style-type: none"> 健康村トレーニングセンターのリハビリ機能をこちらに移転してはどうか。 類似する機能は市内に点在しており基本的に不要。 市としてどこにどの程度このような施設が必要かを判断する必要がある。 利用促進のため管理者、利用者との協議意見交換を行う。 災害用として必要だろう。平常時の活用を検討。 五色での体育活動について、当所を活用してはどうか。 立派な建物なのに、利用者が少ないのはもったいなく感じた。 地域の方々に運営・管理してもらおう等により、より利用者が増えるのでは。

施設 No.	施設名称	施設概要	感想
31	中山間総合活性化センター	農業研究室、農作物調理加工実習室、会議室、多目的室、園芸作陶実習室、伝統工芸研修室、調理加工試食室	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の設置目的とかなり乖離している。老人大学のイベントや老人向けのコーラスなどの公民館機能として利用されている（この場所で実施する必然性があるのか）。個人利用（伝統工芸研究室）もあり、公的施設として本来機能しているのを見直し、他の事業としての活用を検討すべきである。 ・類似する機能は市内に点在しており基本的に不要。 ・市としてどこにどの程度の程度このような施設が必要かを判断する必要がある。 ・利用者の顔が浮かぶ、とても良い施設だと思う。 ・現在の施設有効利用方向で、利用者等の意見を聞いて利用者が増えるよう考えて下さい。（このような施設を利用したい人もたくさんいると思う） ・現施設を活用し、高齢社会の研修、憩いの場とすると良い。 ・五色地区の施設は、一時期に一気に建設された様で、一斉に古くなる。時期をずらす工夫も必要かと。 ・特に陶芸の施設がすばらかった。高齢者の生きがいづくりにおいて作品をつくり、発表や交流の場までつなげられることは重要。五色エリアだけでなく、洲本市エリアにもこのような場所があれば、もっと地域間の交流、発表の場の促進につながり、継続性も高まると考える。
27	洲本図書館	旧高齢者生きがい創造センター（講堂） 開架スペース（一般・児童）、会議室（大・小）、視聴覚室、作業室、書庫	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の利用をゼロベースで考え、多くの利用状況が見込めないのであれば、除却も視野に入れるべきである。 ・類似する機能は市内に点在しており基本的に不要。 ・市としてどこにどの程度の程度このような施設が必要かを判断する必要がある。 ・例えば、定住・交流促進センターで足りるのではないか。 ・子育てセンターとして改修して欲しい。地理的にも中央になるのでは。 ・現施設を活用し、高齢社会の研修、憩いの場とすると良い。
27	洲本図書館	開架スペース（一般・児童）、会議室（大・小）、視聴覚室、作業室、書庫	<ul style="list-style-type: none"> ・レンガ造りで地域との景観ともマッチしている。図書館単独の機能の強化のみならず、文化施設や子育て施設、高齢者福祉施設との連携をさらに強化しては。 ・民間の活用範囲をさらに拡大すれば改善が見込まれるのではないか。 ・すばらしい施設。長く使えるように定期的にメンテナンスを。 ・現況活用が良いと思う。 ・立派な図書館で申し分ないが、もっと他にも利用できたらと思う。 ・鐘紡跡地のこの一帯は全国に誇れるエリアであり、アルファピア、アルチザン等も含め集客できる場所にできれば。新しいデザインを描く。 ・素晴らしい図書館だが、まだまだ利用率を上げられると思う。特に中高生や若者が淡路島の歴史・伝統や文化、そしてさまざまな文獻に気軽に会いに来る場所にしていきたい。
37	文化体育館	メインアリーナ、コミュニティアリーナ、道場、トレーニングジム、文化ホール、会議室、練習室	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化での改修を進める。 ・民間の活用範囲をさらに拡大すれば改善が見込まれるのではないか。 ・体育館機能、会議機能等、廃止施設の機能の受け皿になるよう運営の工夫ができればよいと思う。（利用料、予約順位等） ・長く使えるよう定期的にメンテナンス。川沿いのスペースを活用し、サイクリストやウォーキングの人が軽く飲食できる店が2～3店あれば良いと思う。 ・現況活用が良いと思う。 ・大勢の市民が利用しており活況だと思う。適宜、補修して快適に利用できるようにして欲しい。 ・これからの運営上の改革案等の意見を聞く。 ・すでに利用率も高い施設なので、並行して、修繕が必要な部分をどのようなスケジュールと予算で修繕していくか検討したい。

施設一覽表

番号	中分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築日	新耐震・旧耐震	R2.3.31 築年数	耐用年数	R2.3.31 老朽化比率	指定避難所	借地料 (千円/年)	施設				機能			公共施設等マネジメント委員会での検討結果 (一部所管課案を優先)	左記対策費用 (千円)	施設番号
											存続○ 大規模改修● 建替え◎	全廃止○ 一部廃止●	削減棟数 (棟)	削減面積 (㎡)	調整中	存続○ 転用●	廃止			
1	集会施設	洲本中央公民館	1,006.38	1969/2/28	旧	51	50	99.4%	○		◎				○			・旧益習館庭園管理機能を備えた洲本中央公民館を新設 ・近隣の倉庫機能の複合化も検討 ・新設の際には、旧益習館庭園の周辺を含めた全体整備とする	500,000	1
2	集会施設	加茂公民館	354.87	1979/3/20	旧	41	50	80.0%			●				○			大規模改修して現状の機能を維持 (※加茂小学校体育館と歩調を合わせた改修)	88,710	2
3	集会施設	千草公民館	375.22	1984/3/15	新	36	50	72.0%	○		●				○			大規模改修して現状の機能を維持	93,800	3
4	集会施設	大野公民館	543.00	1986/3/29	新	34	50	66.1%	○		○				○			現状のまま維持、継続	0	4
5	集会施設	由良公民館	602.00	1992/2/29	新	28	50	56.0%	○		●				○			大規模改修して現状の機能を維持	150,500	5
6	集会施設	中川原公民館	392.00	1986/9/30	新	33	50	66.0%	○	200	●				○			大規模改修して現状の機能を維持	98,000	6
7	集会施設	安平公民館	351.01	1981/3/10	旧	39	50	76.0%	○		●				○			大規模改修して現状の機能を維持	87,750	7
8	集会施設	五色中央公民館	1,538.07	1976/12/6	旧	43	50	85.6%				○	▲ 1	▲ 1,538.07	○			・五色中央公民館を除却 ・五色中央公民館は都志公民館機能を兼ねて、五色庁舎2階へ移転 ・放課後子ども教室は、旧青少年センター(五色)2階へ移転 ・子育てセンター機能は中山間総合活性化センターに移転 ・公民館跡地はバスセンター及び駐車場に転用 ・現駐車場の借地解消に努める	172,000	8
9	集会施設	鳥飼公民館	349.04	1979/4/1	旧	40	50	80.0%		781 (保育園と同一敷地)		○	▲ 1	▲ 349.04	○			・鳥飼公民館を除却し、底地を返還 ・消防センター(消防団専用部分を除く)を公民館に位置付ける。また、公民館機能の一部を放課後子ども教室の占有利用とする。実施時期は保育園再編時期とする。	8,380	9
10	集会施設	堺公民館	345.69	1984/3/25	新	36	50	72.0%			●				○			大規模改修して現状の機能を維持	86,420	10
11	集会施設	定住・交流促進センター	1,187.92	2008/1/31	新	12	47	26.4%	○		○				○			五色県民健康村トレーニングセンターのリハビリ機能を定住・交流促進センターに移転	0	11
12	集会施設	安坂集会所	132.00	1974/3/6	旧	46	47	100.0%			○				○			当面の間、軽微な維持修繕を行い維持する	0	12

施設一覧表

1981.6月～新耐震

番号	中分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築日	新耐震・旧耐震	R2.3.31 築年数	耐用年数	R2.3.31 老朽化比率	指定避難所	借地料 (千円/年)	施設				機能			公共施設等マネジメント委員会での検討結果 (一部所管課案を優先)	左記対策費用 (千円)	施設番号
											存続○ 大規模改修● 建替え◎	全廃止○ 一部廃止●	削減棟数 (棟)	削減面積 (㎡)	調整中	存続○ 廃止●	調整中			
13	集会施設	相川集会所(旧上灘会館)	212.20	1976/3/1	旧	44	47	90.2%				○	▲1	▲212.20		○		1階:上灘分団相川機具庫機能と2階:相川集会所機能を上灘出張所へ移転後、除却	7,880	13
14	集会施設	畑田集会所	11200.0%	28,856	旧	41	47	90.2%	○			○				○		現状維持とし、最小限の補修のみ行う。将来的に用途廃止する。	0	14
15	集会施設	中津川集会所	70.00	1982/3/1	新	38	47	83.6%				○				○		現状維持とし、最小限の補修のみ行う。将来的に用途廃止する。	0	15
16	集会施設	千鳥苑	116.70	1973/1/1	旧	47	47	88.9%				○	▲1	▲116.70		○		地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	16
17	集会施設	万歳公会堂	198.00	1974/2/1	旧	46	47	100.0%				○	▲1	▲198.00		○		地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	17
18	集会施設	三野畑公会堂	198.02	1974/12/1	旧	45	47	87.3%				○	▲1	▲198.02		○		地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	18
19	集会施設	市営住宅第2鮎の郷団地集会所	190.30	1994/4/1	新	25	47	55.0%		318		○	▲1	▲190.30		○		適切に維持管理・修繕を行う。地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	19
20	集会施設	栢野郷土伝承館	167.10	1995/3/29	新	25	22	100.0%				○	▲1	▲167.10		○		地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	20
21	集会施設	神陽台集会所	196.78	1997/9/12	新	22	34	66.0%				○	▲1	▲196.78		○		適切に維持管理・修繕を行う。地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	21
22	集会施設	船だんじり伝承館	148.50	1997/3/28	新	23	38	62.1%				○	▲1	▲148.50		○		適切に維持管理・修繕を行う。地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	22
23	集会施設	河原集会所	93.14	1999/7/30	新	20	34	60.0%				○	▲1	▲93.14		○		地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	23
24	集会施設	市営住宅第2広石中団地集会所	164.52	2002/3/13	新	18	34	54.0%				○	▲1	▲164.52		○		適切に維持管理・修繕を行う。地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	24
25	集会施設	鮎屋多目的集会施設	159.00	1985/3/13	新	35	34	100.0%	○			○	▲1	▲159.00		○		地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	25
26	文化施設	人権文化センター	413.34	2008/2/8	新	12	47	26.4%	○			○				○		適切に維持管理・修繕を行う	0	26
27	図書館	洲本図書館 集計	3,220.29	1998～2011	新	9～21		42.0%				●				○		建築後、20年経過することより大規模修繕を実施する	797,770	27
28	図書館	五色図書館(えるる五色)・鮎原公民館	1,750.51	2002/7/12	新	17	50	34.0%				●				○		大規模修繕を実施	30,000	28
29	博物館等	淡路文化史料館 集計	2,502.86	1968～1974	旧	45～52		100.0%							○	○		・淡路文化史料館は文化財資料保管庫と複合化して建替えることとするが、現地建替えか移設か、候補地の選定から検討を行う ・現地建替える場合は、全面発掘調査(城遺構)を要する	2,700,000	29

施設一覧表

番号	中分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築日	新耐震・旧耐震	R2.3.31 築年数	耐用年数	R2.3.31 老朽化比率	指定避難所	借地料 (千円/年)	施設				機能			公共施設等マネジメント委員会での検討結果 (一部所管課案を優先)	左記対策費用 (千円)	施設番号			
											存続○ 大規模改修 建替え●	全廃止○ 一部廃止●	削減棟数 (棟)	削減面積 (㎡)	調整中	存続○ 転用●	廃止				調整中		
30	博物館等	旧中川原中学校 集計	3,102.42	1993~1988	新・旧	27~42		62.1%	○		○								○	30	<ul style="list-style-type: none"> ・中川原中学校閉校後の地域活性化、コミュニティの場として、町内会からの要望を受けた施設活用をしており、当分の間は現状を維持する ・旧校舎部分は、建替えは行わず、将来的に町内会等への譲渡も含めて検討。それにより教育センターの移転が必要となるため、移転先の確保が必要。 ・体育館については、中川原小学校体育館も施設開放していることなどから、建替えは行わない ・ただし耐用年数経過後に廃止 	0	
31	博物館等	中山間総合活性化センター 集計	1,424.00	1986~1998	新	21~33		67.8%	○	22				○	○					31	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸教室など、利用のある専門的な設備及び講堂の有効活用 ・子育てセンター機能を中山間総合活性化センターに移転 	16,000	
32	博物館等	青少年センター 集計	299.20	1973~1994	新・旧	25~46		91.7%			○	▲3	▲299.20		○					32	適切な移転先を検討中	7,190	
33	博物館等	高田屋顕彰館・歴史文化資料館(菜の花ホール)	1,213.00	1992/4/22	新	27	50	54.0%			●				○					33	大規模改修を実施	303,250	
34	博物館等	旧アルファピア美術館	1,484.19	1994/4/1	新	25	41	59.5%			●				●					34	地域活性化につながる活用方法を検討し、リノベーション改修を実施。業務委託を検討中	295,000	
35	スポーツ施設	市民交流センター 集計	11,636.90	1979~1990	新・旧	30~41		82.0%	○			●	▲5	▲8,780.19	○		○			35	<ul style="list-style-type: none"> ・プールは現地建替えか移設か、候補地の選定から検討を行う ・プール完成後、洲本地域の学校プールは順次廃止 ・陸上競技場は存続。ただし島内他所に代替施設ができれば廃止検討 ・野球場機能は代替施設(洲本地域1箇所、五色地域1箇所)ができれば廃止検討。代替施設は、洲本地域は未定、五色地域は五色県民健康村グラウンドとする。 ・本館機能(体育館・ホール・会議室)は市内の他施設を利用 ・本館、プール棟は老朽化が進んでいるため、安全面に支障があると判断された場合は、その時点で閉鎖する ・老朽化施設を除却 	2,970,000	
36	スポーツ施設	五色台運動公園 集計	6,052.04	2001~2020	新	0~19		38.6%	○	4,734	●				○					36	当施設は適切に維持管理を行うとともに、建築後、10年スパンで大規模修繕を実施する	302,500	
37	スポーツ施設	文化体育館 集計	12,010.06	2005/4/20	新	14		30.8%	○		●				○					37	<ul style="list-style-type: none"> ・改修・長寿命化を実施 ・陸上競技場等も含めて指定管理者制度を導入する 	340,000	

施設一覧表

1981.6月～新耐震

番号	中分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築日	新耐震・旧耐震	R2.3.31 築年数	耐用年数	R2.3.31 老朽化比率	指定避難所	借地料 (千円/年)	施設				機能			公共施設等マネジメント委員会での検討結果 (一部所管課案を優先)	左記対策費用 (千円)	施設番号	
											存続○ 大規模改修 建替え◎	全廃止○ 一部廃止●	削減棟数 (棟)	削減面積 (㎡)	調整中	存続○ 廃止●	調整中				
38	レクリエーション施設	高田屋嘉兵衛公園 集計	8,618.26	1995～2017	新	3～25		65.9%	○	2,255	●	●	▲ 1	▲ 2,928.00		○			・改修・長寿命化を実施する ・GOGOドームについては、耐用年数経過時に用途廃止する(オートキャンプ場等の宿泊施設に切り替え) ・なお、高田屋嘉兵衛公園の道の駅指定が進む場合は、GOGOドームの用途廃止時期の前倒しすることも検討	990,000	38
39	レクリエーション施設	由良交流センター(エトワール生石) 集計	1,545.00	1999/3/25	新	21		68.8%			●					○			大規模改修を実施、利用者数増加について指定管理者と協議する	308,990	39
40	学校	洲本第一小学校 集計	4,329.88	1962～1986	新・旧			73.5%	○						○	○				0	40
41	学校	洲本第二小学校 集計	5,190.29	1964～2009	新・旧			74.2%	○						○	○				0	41
42	学校	洲本第三小学校 集計	7,354.81	1968～1995	新・旧			53.4%	○						○	○				0	42
43	学校	加茂小学校 集計	3,938.94	1970～2018	新・旧			68.6%	○						○	○				0	43
44	学校	大野小学校 集計	4,133.58	1971～2001	新・旧			67.1%	○						○	○				0	44
45	学校	由良小学校 集計	3,670.49	1984～2017	新			21.9%	○						○	○				0	45
46	学校	中川原小学校 集計	3,168.72	1965～1991	新・旧			66.6%	○						○	○				0	46
47	学校	安乎小学校 集計	2,941.00	1981～1999	新			59.0%	○						○	○				0	47
48	学校	都志小学校 集計	4,106.60	1974～1979	旧			69.9%	○						○	○				0	48
49	学校	鮎原小学校 集計	4,025.47	1977～2000	新・旧			61.2%	○	489					○	○				0	49
50	学校	広石小学校 集計	3,132.08	1978～2005	新・旧			45.8%	○	212					○	○				0	50
51	学校	鳥飼小学校 集計	3,423.99	1977～2015	新・旧			68.9%	○	871					○	○				0	51
52	学校	堺小学校 集計	3,095.18	1973～1994	新・旧			64.7%	○						○	○				0	52
53	学校	洲浜中学校 集計	6,055.00	1962～1995	新・旧			77.8%	○						○	○				0	53
54	学校	青雲中学校 集計	12,680.88	1980～2015	新・旧			81.6%	○						○	○				0	54
55	学校	由良中学校 集計	4,266.00	1977～1999	新・旧			56.2%	○						○	○				0	55
56	学校	安乎中学校 集計	3,205.00	1986～1992	新			65.4%	○						○	○				0	56
57	学校	五色中学校 集計	8,523.00	1969～2011	新・旧			70.3%	○						○	○				0	57
58	その他教育施設	洲本給食センター	1,986.93	2013/7/9	新	6	31	20.7%			○								適切に維持管理・修繕を行う	0	58
59	その他教育施設	五色給食センター 集計	1,147.10	2008/12/26	新	11		37.4%			○								適切に維持管理・修繕を行う	0	59
60	幼保・こども園	由良保育所	700.40	1983/2/28	新	37	47	80.9%			●								大規模改修を実施し、継続して運営	119,060	61
61	幼保・こども園	中川原保育所	402.43	2002/4/1	新	17	47	37.4%			○								児童数の推移等により、集約化や民間移管を検討	12,450	62
62	幼保・こども園	旧安乎保育所(放課後児童クラブ)	419.43	1975/3/31	旧	45	47	99.0%			◎								老朽化による建替え	0	63
63	幼保・こども園	安乎保育所	465.04	2009/12/25	新	10	34	30.0%			○								児童数の推移等により、集約化や民間移管を検討	1,000	64
64	幼保・こども園	都志保育園	618.35	1975/3/29	旧	45	47	95.1%		547									五色地区での保育園の集約化を進める	19,130	65
65	幼保・こども園	鮎原保育園・児童館	1,240.24	1994/6/30	新	25	47	52.9%		1,721	○								五色地区での保育園の集約化を進める	0	66
66	幼保・こども園	広石保育園	610.89	1994/4/1	新	25	47	55.0%			仮 ◎								五色地区での保育園の集約化を進める	532,460	67
67	幼保・こども園	鳥飼保育園 集計	626.17	1981～2006	新・旧	14～39		47.6%		781 (公民館と同一敷地)									五色地区での保育園の集約化を進める	19,370	68

施設一覧表

1981.6月～新耐震

番号	中分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築日	新耐震・旧耐震	R2.3.31 築年数	耐用年数	R2.3.31 老朽化比率	指定避難所	借地料 (千円/年)	施設				機能			公共施設等マネジメント委員会での検討結果 (一部所管課案を優先)	左記対策費用 (千円)	施設番号
											存続○ 大規模改修● 建替え◎	全廃止○ 一部廃止●	削減棟数 (棟)	削減面積 (㎡)	調整中	存続○ 転用●	廃止			
68	幼保・こども園	堺保育園	388.60	1978/1/4	旧	42	38	97.1%		306					○			五色地区での保育園の集約化を進める	12,020	69
69	幼保・こども園	なのはなこども園 集計	1,544.83	2019/1/31	新	1		0.0%							○			適切に維持管理・修繕を行う	0	70
70	幼児・児童施設	旧子育て支援センター	788.88	1974/10/31	旧	45	47	99.0%							○			他の施設に機能移転後、除却	0	71
71	幼保・こども園	洲本幼稚園	376.50	1996/3/19	新	24	47	50.7%							○			民間も含む幼保施設の就園状況を踏まえ、園児数を考慮しながら公立幼稚園は段階的に1園。閉園後の施設は併設小学校と一体化	0	72
72	幼保・こども園	旧第一幼稚園(放課後児童クラブ)	450.08	1985/3/10	新	35	47	77.9%							○			平成31年度に新設される認定こども園に集約されたため、平成30年度末で用途廃止。放課後児童クラブに転用	0	73
73	幼保・こども園	旧第三幼稚園	380.15	1997/1/31	新	23	47	50.6%							○			平成31年度に新設される認定こども園に集約されたため、平成30年度末で用途廃止。除却予定	10,980	74
74	幼保・こども園	旧加茂幼稚園(放課後児童クラブ)	360.59	1998/2/20	新	22	47	45.9%							○			平成31年度に新設される認定こども園に集約されたため、平成30年度末で用途廃止。放課後児童クラブに転用	0	75
75	幼保・こども園	大野幼稚園	621.60	1982/3/25	新	38	47	84.1%							○			民間も含む幼保施設の就園状況を踏まえ、園児数を考慮しながら公立幼稚園は段階的に1園。閉園後の施設は併設小学校と一体化	0	76
76	高齢福祉施設	老人憩の家あいほら荘	389.23	1972/1/30	旧	48	47	100.0%							○			地元町内会等と移管(譲与)について調整。調整がつかない場合は、定住・交流促進センター等へ機能移転。その後除却。	0	77
77	高齢福祉施設	生きがい活動支援センター(大野陽だまり館)	254.46	2000/11/1	新	19	34	57.0%	○						●			大規模改修を実施	50,890	78
78	高齢福祉施設	旧デイサービスセンターうしお	546.11	2000/3/22	新	20	47	44.0%	○						●			洲本市社会福祉協議会と貸与の調整が付けば浄化槽を修繕し、無理なら民間へ貸与等	22,000	79
79	保健施設	保健指導室	687.62	1982/1/31	新	38	50	74.0%							○			適切に維持管理・修繕を行う	0	80
80	保健施設	五色県民健康村第1健康道場	1,583.28	1982/2/27	新	38	47	83.6%							○			健康道場として現状維持	0	81
81	保健施設	五色県民健康村第2健康道場	1,231.45	1983/4/28	新	36	47	79.2%							○			健康道場として現状維持	0	82
82	保健施設	五色県民健康村トレーニングセンター集計	1,738.40	1985～1987	新	33～35		76.6%	○						●			・リハビリ機能を定住・交流促進センターに移転後、除却 ・市民交流センターの野球場機能を五色県民健康村グラウンドに移転する ・テニスコート2面は、廃止 ・会議室棟・倉庫等は適切に維持管理・修繕を行う	47,640	83
83	その他社会福祉施設	旧五色診療所(ちどりの郷)	1,031.20	1982/1/31	新	38	47	83.6%							○			適切に維持管理・修繕を行う 廊下部は五色診療所と共用している	0	84

施設一覧表

1981.6月～新耐震

番号	中分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築日	新耐震・旧耐震	R2.3.31 築年数	耐用年数	R2.3.31 老朽化比率	指定避難所	借地料 (千円/年)	施設				機能			公共施設等マネジメント委員会での検討結果 (一部所管課案を優先)	左記対策費用 (千円)	施設番号
											存続○ 大規模改修● 建て替え◎	全廃止○ 一部廃止●	削減棟数 (棟)	削減面積 (㎡)	調整中	存続○ 廃止●	調整中			
84	その他社会福祉施設	総合福祉会館 集計	2,162.62	1991～1994	新	25～28		57.5%	○		●				○			大規模改修を実施	50,000	85
85	その他社会福祉施設	五色健康福祉総合センター 集計	3,801.46	1991～1994	新	25～28		51.5%	○		●				○			大規模改修を実施	760,290	86
86	その他社会福祉施設	五色地域福祉センター	1,222.67	1996/3/25	新	24	50	45.4%	○	375	●				○			大規模改修を実施	244,530	87
87	庁舎等	市役所 集計	11,823.90	1980～2018	新・旧	2～40		15.9%			●	▲ 2	▲ 1,034.00		○			・適切に維持管理・修繕を行う ・公園下書庫は公設市場の動向に併せ除却 ・書庫、倉庫機能の移転先が確保された後に南庁舎を除却	4,620	88
88	庁舎等	健康福祉館	3,539.81	2000/3/15	新	20	50	41.7%	○		●				○			設備の更新等の大規模修繕を行う	300,000	89
89	庁舎等	由良支所	250.00	2004/3/31	新	16	38	43.2%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	90
90	庁舎等	旧由良支所 集計	535.50	1966～1978	旧	41～54		95.3%				○	▲ 2	▲ 535.50		○		基本的に広域消防との協議を進め機能移転の後、除却の方向で進めるが、一部地元町内会の資機材が保管されていることから地元移管も検討	15,860	91
91	庁舎等	上灘出張所 集計	650.00	1972～1990	新・旧	30～47		68.7%	○		○				○			・適切に維持管理・修繕を行う ・旧出張所を除却するかを検討 ・上灘分団相川機具庫機能と相川集会所機能を上灘出張所へ移転	0	92
92	庁舎等	炬口分庁舎	394.50	1996/4/1	新	23	50	46.0%				○	▲ 1	▲ 394.50		○		除却	11,690	93
93	庁舎等	五色庁舎 集計	4,465.14	1978～2005	新・旧	15～42		40.1%	○	183	●	▲ 1	▲ 934.14		○			・建物全体は適切に維持管理・修繕を行う ・第2庁舎除却。ぴゅーぱる(適応教室)は副市長公舎への移転を検討 ・五色中央公民館は都志公民館機能を兼ねて、五色庁舎2階へ移転	27,672	94
94	消防施設	旧内町分団1.2班詰所	200.00	1974/6/11	旧	45	38	100.0%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	95
95	消防施設	旧内町分団小路谷班詰所	73.50	1984/3/22	新	36	38	97.2%				○	▲ 1	▲ 73.50		○		地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	96
96	消防施設	消防団内町分団地域拠点施設	251.61	2006/3/24	新	14	38	37.8%	○		○				○			適切に維持管理・修繕を行う	3,000	97
97	消防施設	外町コミュニティ消防センター	151.42	1994/12/27	新	25	38	67.5%	○		●				○			大規模改修を実施	37,850	98
98	消防施設	潮コミュニティ消防センター	246.04	2010/12/10	新	9	34	27.0%	○		○				○			適切に維持管理・修繕を行う	3,000	99
99	消防施設	塩屋防災公園	122.00	2011/3/30	新	9	38	24.6%	○		○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	100
100	消防施設	物部コミュニティ消防センター	103.70	1993/12/24	新	26	38	70.2%	○		●				○			大規模改修を実施	25,920	101
101	消防施設	旧千草分団詰所	86.94	1969/3/24	旧	51	31	100.0%			○				○			商工観光課への所管替え(すでに商工が倉庫として利用)	0	102

施設一覧表

1981.6月～新耐震

番号	中分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築日	新耐震・旧耐震	R2.3.31 築年数	耐用年数	R2.3.31 老朽化比率	指定避難所	借地料 (千円/年)	施設				機能			公共施設等マネジメント委員会での検討結果 (一部所管課案を優先)	左記対策費用 (千円)	施設番号
											存続○ 大規模改修● 建替え◎	全廃止○ 一部廃止●	削減棟数 (棟)	削減面積 (㎡)	調整中	存続○ 廃止●	調整中			
102	消防施設	千草コミュニティ消防センター(防災拠点施設)	242.68	2004/5/18	新	15	38	40.5%	○		○				○			適切に維持管理・修繕を行う	3,000	103
103	消防施設	加茂コミュニティ消防センター	240.00	1999/3/30	新	21	38	56.7%	○		●				○			大規模改修を実施	60,000	104
104	消防施設	旧大野分団1班詰所	57.95	1980/12/20	旧	39	50	78.0%				○	▲1	▲57.95		○		地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	105
105	消防施設	旧大野分団3班機具庫	33.57	1969/1/1	旧	51	34	100.0%				○	▲1	▲33.57		○		地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	106
106	消防施設	旧大野分団5班機具庫	22.68	1972/11/1	旧	47	34	100.0%				○	▲1	▲22.68		○		地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	107
107	消防施設	大野コミュニティ消防センター	204.78	1997/3/28	新	23	38	61.8%	○		●				○			大規模改修を実施	51,190	108
108	消防施設	旧由良分団2班詰所	46.50	1978/11/1	旧	41	50	82.0%				○	▲1	▲46.50		○		洲本消防署由良出張所移転後、除却	1,340	109
109	消防施設	旧由良分団3班詰所	100.28	1970/1/31	旧	50	50	100.0%				○	▲1	▲100.28		○		地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	110
110	消防施設	旧由良分団4班詰所	24.00	1975/10/9	旧	44	41	100.0%				○	▲1	▲24.00		○		地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	111
111	消防施設	旧由良分団5班詰所	25.20	1994/1/10	新	26	38	70.2%				○	▲1	▲25.20		○		地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	112
112	消防施設	由良コミュニティ消防センター	230.00	2002/3/11	新	18	38	48.6%	○		○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	113
113	消防施設	上灘分団中津川機具庫	7.35	1994/12/15	新	25	34	75.0%			●				○			大規模改修を実施	1,830	114
114	消防施設	上灘分団相川機具庫	91.00	1976/3/1	旧	44	38	100.0%				○	▲1	▲91.00		○		1階:上灘分団相川機具庫機能と2階:相川集会所機能を上灘出張所へ移転後、除却	3,000	115
115	消防施設	上灘分団畑田機具庫	24.75	1967/12/20	旧	52	41	100.0%			●				○			長寿命化改修を実施	6,187	116
116	消防施設	旧中川原分団市原班詰所	40.00	1982/9/1	新	37	50	74.0%				○	▲1	▲40.00		○		地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	117
117	消防施設	旧中川原分団中川原班詰所	51.00	1987/2/28	新	33	38	89.1%				○	▲1	▲51.00		○		地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	118
118	消防施設	旧中川原分団安坂上班詰所	34.69	1969/11/16	旧	50	24	100.0%				○	▲1	▲34.69		○		地元町内会等と移管(譲与)について調整	0	120
119	消防施設	中川原分団詰所	160.30	1993/2/18	新	27	38	72.9%			●				○			大規模改修を実施	40,070	122
120	消防施設	安平分団詰所	100.64	1983/3/22	新	37	38	99.9%			◎				○			現在の詰所が手狭なため、別の場所にある器具庫を集約したうえで、建替えを行う	55,000	123
121	消防施設	安平分団3班機具庫	26.25	1994/12/27	新	25	31	82.5%				○	▲1	▲26.25		○		安平分団詰所へ機能移転後、除却または地元町内会等と移管(譲渡)について調整	760	124
122	消防施設	納鮎屋分団鮎屋班機具庫	28.00	1985/3/13	新	35	38	94.5%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	125
123	消防施設	納鮎屋分団納班第2機具庫	9.30	2001/3/30	新	19	24	79.8%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	126
124	消防施設	消防団納鮎屋分団納班詰所	92.19	2011/7/24	新	8	38	21.6%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	127

施設一覧表

1981.6月～新耐震

番号	中分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築日	新耐震 旧耐震	R2.3.31 築年数	耐用年数	R2.3.31 老朽化比率	指定避難 所	借地料 (千円/年)	施設				機能			公共施設等マネジメント 委員会での検討結果 (一部所管課案を優先)	左記 対策費用 (千円)	施設 番号	
											存続○ 大規模改修 建替え●	全廃止○ 一部廃止●	削減 棟数 (棟)	削減 面積 (㎡)	調整中	存続 転用○ ●	廃止				調整中
125	消防施設	防災センター都志会館	431.35	1999/12/20	新	20	50	40.0%	○		●				○			大規模改修を実施	107,837	128	
126	消防施設	鮎原分団地域拠点施設	261.57	1994/4/1	新	25	38	67.5%	○		●				○			大規模改修を実施	65,390	129	
127	消防施設	広石分団地域拠点施設	181.35	1997/3/28	新	23	38	62.1%	○	122	●				○			大規模改修を実施	45,330	130	
128	消防施設	防災センター鳥飼会館	509.12	1997/3/27	新	23	50	46.0%	○	573	●				○			・大規模改修を実施 ・消防センター(消防団専用部分を除く)を 公民館に位置付ける。また、公民館機能 の一部を放課後子ども教室の占用利用と する。実施時期は保育園再編時期とする。	127,280	131	
129	消防施設	堺分団地域拠点施設	216.65	1994/4/1	新	25	38	64.5%	○		●				○			大規模改修を実施	54,160	132	
130	その他行政系 施設	旧スポーツセンター 集計	1,928.21	1970～1971	旧	48～49		100.0%						○	▲2	▲1,928.21		○	書庫、倉庫機能の移転先が確保された後 に除却し、防災機能施設の建設の是非を 検討する	55,710	133
131	その他行政系 施設	副市長公舎	139.00	1984/1/1	新	36	47	79.2%			○				●			五色庁舎(第2庁舎)のびゅーぱる(適応教 室)は、副市長公舎への移転を検討	0	134	
132	その他行政系 施設	情報交流センター	1,647.51	1994/5/26	新	25	50	50.1%		2,573	●				○			大規模改修を実施(維持管理は事業団と 折半)	205,935	135	
133	その他行政系 施設	加茂サブセンター	19.90	2011/3/31	新	9	24	56.3%			○				○			CATV事業に依存	0	136	
134	その他行政系 施設	宇原サブセンター	19.90	2011/3/31	新	9	24	52.7%			○				○			CATV事業に依存	0	137	
135	その他行政系 施設	選挙管理委員会倉庫	49.68	2001/3/30	新	19	24	79.8%			○				○			・適切に維持管理・修繕を行う ・洲本中央公民館建替え時に、倉庫機能 の複合化について検討	0	138	
136	その他行政系 施設	物部倉庫	193.00	1994/4/1	新	25	15	100.0%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	139	
137	その他行政系 施設	五色庁舎倉庫(旧老 人福祉センター高田屋 荘)	513.09	1976/3/10	旧	44	38	100.0%		500				○	▲1	▲513.09		○	・築40年が経過し、老朽化が激しいため除 却 ・1階の都志公民館機能を五色庁舎2階へ 移転	14,830	140
138	その他行政系 施設	うめばち会館(旧鮎原 公民館)	335.80	1978/12/20	旧	41	50	82.0%						○	▲1	▲335.80		○	築40年が経過し、老朽化が激しいため除 却	9,710	141
139	その他行政系 施設	旧青少年センター(五 色)(倉庫)	265.70	1984/1/21	新	36	38	97.2%			○				●			・商工会の意向を踏まえ適切に維持管理・ 修繕を行う ・五色中央公民館内の放課後子ども教室 を、旧青少年センター(五色)2階へ移転	五色中公に 込み	142	
140	その他行政系 施設	五色庁舎倉庫(公用 車庫奥)	49.00	2005/3/25	新	15	24	63.0%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	143	
141	その他行政系 施設	五色庁舎万歳倉庫	147.00	1994/4/1	新	25	31	82.5%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	144	

施設一覧表

1981.6月～新耐震

番号	中分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築日	新耐震・旧耐震	R2.3.31 築年数	耐用年数	R2.3.31 老朽化比率	指定避難所	借地料 (千円/年)	施設				機能			公共施設等マネジメント委員会での検討結果 (一部所管課案を優先)	左記対策費用 (千円)	施設番号
											存続○ 大規模改修● 建替え◎	全廃止○ 一部廃止●	削減棟数 (棟)	削減面積 (㎡)	調整中	存続○ 廃止●	調整中			
142	その他行政系施設	大日資材倉庫	43.00	1994/4/1	新	25	31	82.5%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	145
143	その他行政系施設	五色庁舎大日倉庫	213.08	1997/3/26	新	23	31	75.9%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	146
144	その他行政系施設	農政課物部倉庫	96.00	1956/1/1	旧	64	15	100.0%			○	▲ 1	▲ 96.00		○			他施設へ機能移転した上で、除却	2,770	147
145	その他行政系施設	旧五色情報センター	921.95	1991/3/15	新	29	50	58.1%			○				○			兵庫県社会福祉事業団への無償貸与を継続	0	148
146	その他行政系施設	内膳水防倉庫	38.42	1967/10/22	旧	52	15	100.0%			◎				○			規模縮小して建替え	5,000	149
147	その他行政系施設	安乎水防倉庫	21.94	1983/9/1	新	36	34	100.0%			○				○			現状維持とし経過観察、必要に応じ修繕	0	150
148	その他行政系施設	都市整備部塩屋倉庫	50.90	2001/3/28	新	19	31	62.7%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	151
別	市営住宅	市営住宅船場団地 集計	1,630.58	1966～1968	旧	52～54	47	100.0%				▲ 2	▲ 1,630.58					除却	未確定	別
149	市営住宅	上堺定住促進住宅 集計	1,390.26	2016～2017	新	3		9.0%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	152
150	公園	城戸アグリ公園 集計	342.00	1998/3/24	新	22		71.4%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	153
151	公園	多目的広場公衆便所	57.29	1998/3/24	新	22	38	59.4%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	154
152	公園	由良港生石地区交流広場	19.20	2011/3/31	新	9	31	29.7%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	155
153	公園	柏原山 集計	26.50	1994/4/1	新	25		75.0%			○	●	▲ 2	▲ 15.50	○			トイレ2棟の内トイレ1棟、ポンプ室の廃止・除却を進める	1,500	156
154	公園	宮滝公衆便所	9.55	1992/4/1	新	27	38	72.9%			○				○			宮滝周辺の「みやたき市民の森」は、桜、紅葉等の名所として親しまれ、ひょうごの森百選に選ばれており、公衆便所施設の耐用年数も約13年残っていることから、適切に維持管理・修繕を行う	0	157
155	公園	炬口海岸便利施設	178.50	1996/4/1	新	23	50	46.0%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う(シルバー人材センターへの管理委託を継続)	0	158
156	公園	三熊山公園 集計	290.30	1985～2019	新	1～35		28.4%			○	●			○			法定耐用年数が経過したもの・するものは、除却、集約を視野に検討し、その他改修等、施設全体を見据えて対策を講じていく	1,230	159
157	公園	大浜公園 集計	1,069.08	1985～2013	新	6～35		22.8%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	50,000	160
158	公園	五色県民サンビーチ	354.14	1995/5/31	新	24	50	47.6%		112	○	▲ 1	▲ 354.14		○			公設の海水浴場は廃止し、建物も除却する旨を地元へ伝える。建物について地元町内会等と移管(譲与)について調整(現在は海水浴場とともに漁協に業務委託)、整わなければ除却	10,000	161
159	公園	成ヶ島公園公衆便所及び待合所	50.25	1997/10/26	新	22	38	58.6%			●				○			大規模改修を実施	8,540	162

施設一覧表

1981.6月～新耐震

番号	中分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築日	新耐震・旧耐震	R2.3.31 築年数	耐用年数	R2.3.31 老朽化比率	指定避難所	借地料 (千円/年)	施設				機能			公共施設等マネジメント委員会での検討結果 (一部所管課案を優先)	左記対策費用 (千円)	施設番号
											存続○ 大規模改修● 建替え◎	全廃止○ 一部廃止●	削減棟数 (棟)	削減面積 (㎡)	調整中	存続○ 廃止●	調整中			
160	公園	鮎屋の滝周辺施設 集計	28.20	2010/3/1	新	10		31.5%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	163
161	公園	新都志海水浴場	99.79	2012/7/9	新	7	50	14.7%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	164
162	公園	曲田山公園	21.76	1997/3/30	新	23	31	75.9%			●				○			大規模改修を実施	4,000	165
163	公園	住吉公園	49.00	2002/6/26	新	17	38	45.9%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	166
164	公園	由良多目的広場 集計	40.12	1999～2002	新	18～20		49.5%			●				○			大規模改修を実施	1,040	167
165	公園	サンセットパーク五色 (夕日が丘公園)	40.06	1999/4/1	新	20	34	60.0%		40	○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	168
166	供給処理施設	塩屋衛生センターせいすい苑	2,501.76	2005/3/24	新	15	38	41.6%			●	●			●			将来的には、下水処理場との一体運営をめざし搬入と前処理機能のみ残す	630,000	169
167	供給処理施設	リサイクルセンターみつあい館計	508.84	1996～2020	新	0～24		78.9%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	170
168	供給処理施設	洲本ストックヤード	706.25	2012/3/21	新	8	31	26.4%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	171
169	供給処理施設	エコひろば洲本(洲本ストックヤード倉庫)	157.14	2016/3/31	新	4	31	13.2%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	172
170	供給処理施設	エコひろば洲本(環境学習拠点施設) 集計	209.31	2016～2020	新	0～4		12.4%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	173
171	供給処理施設	由良ストックヤード 集計	29.92	2016～2020	新	0～13		33.6%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	174
172	供給処理施設	五色ストックヤード 集計	137.84	2016～2020	新	0～10		32.1%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	175
173	その他	薬局施設	242.39	2013/3/26	新	7	38	18.9%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	176
174	その他	物部3丁目貸付建物 (シルバー人材センター)	233.25	1959/1/1	旧	61	24	100.0%			○	▲1	▲233.25		○			借受事業者が移転した後に除却	6,740	177
175	その他	由良倉庫	170.00	1985/4/1	新	34	3	100.0%			○	▲1	▲170.00		○			老朽化が激しいため除却	4,910	180
176	その他	厳島神社公衆便所	75.60	1994/4/1	新	25	38	67.5%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	181
177	その他	由良公衆便所	9.60	1994/4/1	新	25	38	67.5%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	182
178	その他	本町公衆便所	29.15	1994/4/1	新	25	31	57.3%			●				○			大規模改修を実施	5,830	183
179	その他	高田屋嘉兵衛翁記念碑等見学者用駐車場公衆便所	51.05	2000/2/28	新	20	38	54.0%			●				○			大規模改修を実施	8,670	184
180	その他	洲本火葬場 集計	347.36	1980～2013	新・旧	6～39		76.7%			●				○			大規模改修を実施	72,750	185
181	その他	五色台聖苑	1,110.00	2002/4/1	新	17	50	34.0%		1,209	●				○			大規模改修を実施	177,900	186
182	その他	里と海の魅力発信拠点施設 集計	230.59	1968/1/1	旧	52		18.7%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う、指定管理者制度導入	0	187

施設一覧表

番号	中分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築日	新耐震・旧耐震	R2.3.31 築年数	耐用年数	R2.3.31 老朽化比率	指定避難所	借地料 (千円/年)	施設				機能			公共施設等マネジメント委員会での検討結果 (一部所管課案を優先)	左記対策費用 (千円)	施設番号
											存続○ 大規模改修● 建て替え◎	全廃止○ 一部廃止●	削減棟数 (棟)	削減面積 (㎡)	調整中	存続○ 転用●	廃止			
183	その他	千草貸付土地建物集計	285.96	1937~1978	旧	42~83		100.0%			○				○			借受人が、最低限の維持管理を行う	0	188
184	その他	都志港農協跡漁具倉庫	383.00	1948/1/1	旧	72	15	100.0%			○	▲ 1	▲ 383.00		○			賃借者(五色町漁協)から返還後に除却。時期未定。	9,200	189
185	その他	炬口漁港休憩施設	108.00	2008/3/15	新	12	17	70.8%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	190
186	その他	アルチザンスクエア集計	2,396.25	2001/3/10	新	19		12.8%			○				○			建物全体は適正に維持管理・修繕を行う。市民工房については用途廃止を含め、現在の用途及び運営形態を見直す。	0	192
187	その他	公設市場	2,069.56	1966/3/1	旧	54	47	98.0%			○	▲ 1	▲ 2,069.56		○			店子の退去が完了後、除却(3階以上は市営住宅)	未確定	193
188	その他	洲本インターチェンジ駐車場公衆トイレ	31.50	2010/10/21	新	9	31	29.7%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	194
189	その他	すいせん苑駐車場管理棟	17.07	1996/11/11	新	23	25	92.0%			●				○			大規模改修を実施	3,410	195
190	その他	洲本バスセンター前駐車場	4.95	1994/4/1	新	25	25	100.0%			●				○			大規模改修を実施	990	196
191	その他	炬口ポンプ場	29.00	1994/4/1	新	25	34	75.0%			○	▲ 1	▲ 29.00		○			代替施設完成後除却	0	197
192	その他	洲本バスセンター 集計	1,461.64	1999~2006	新	14~21		62.3%			●				○			大規模改修を実施	45,000	198
193	その他	五色バスセンター	14.25	2002/3/29	新	18	31	59.4%		1,661	○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	199
194	その他	益習館跡 集計	235.36	1941~1960	旧	60~79		100.0%			○				○			・旧益習館庭園管理機能を備えた洲本中央公民館を新設 ・近隣の倉庫機能の複合化も検討 ・新設の際には、旧益習館庭園の周辺を含めた全体整備とする	0	200
195	その他	旧高田屋嘉兵衛翁記念館	164.80	1979/9/30	旧	40	50	80.0%			○				○			借受人が、最低限の維持管理を行う	0	201
196	その他	旧高田屋嘉兵衛翁記念館便所	17.10	2002/4/1	新	17	38	45.9%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	202
197	その他	五色台霊園管理棟	9.57	2007/9/21	新	12	24	50.4%			○				○			適切に維持管理・修繕を行う	0	203
198	その他	タイムアフタータイム	666.76	1995/11/22	新	24	16	6.3%			○				○			引き続き、有償貸付を継続する	0	204
199	医療施設	国民健康保険五色診療所	2,054.38	2004/3/31	新	16	39	41.6%		790	●				○			適切に維持管理・修繕を行い、大規模改修も検討する	250,000	205
200	医療施設	国民健康保険堺診療所	286.80	1994/3/15	新	26	39	67.6%		42	○				○			適切に維持管理・修繕を行う。浄化槽を改修	20,000	207
201	医療施設	国民健康保険五色診療所・医師住宅1	124.00	1982/3/1	新	38	47	83.6%			○			○	○			保留	4,710	208
202	医療施設	国民健康保険五色診療所・医師住宅2	160.80	1982/11/30	新	37	47	81.4%			○			○	○			保留	6,080	209

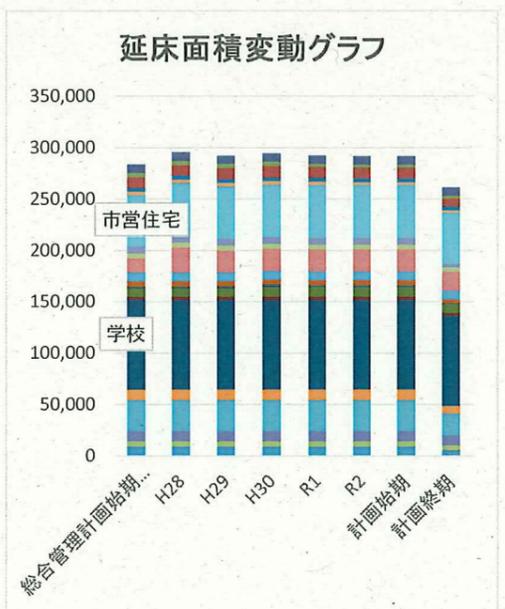
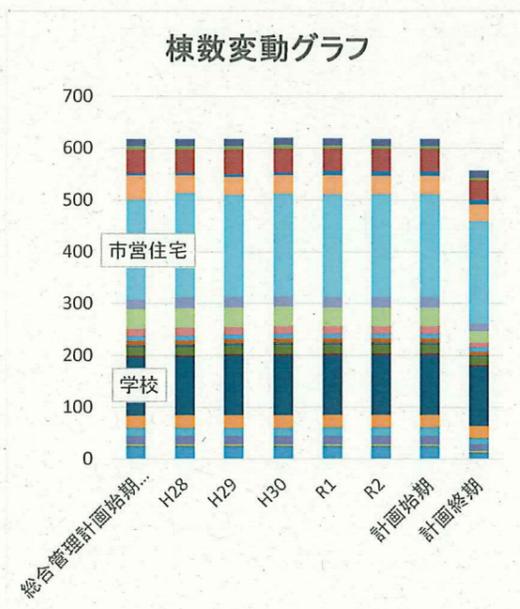
施設一覧表

番号	中分類	施設名称	延床面積 (㎡)	建築日	1981.6月～新耐震		R2.3.31 築年数	耐用年数	R2.3.31 老朽化比率	指定避難 所	借地料 (千円/年)	施設				機能			公共施設等マネジメント 委員会での検討結果 (一部所管課案を優先)	左記 対策費用 (千円)	施設 番号							
					存続○ 大規模改修● 建替え◎	全廃止○ 一部廃止●						削減 棟数 (棟)	削減 面積 (㎡)	調整中	存続○ 転用●	廃止	調整中											
203	医療施設	国民健康保険鮎原診療所・医師住宅1	166.95	1986/12/20	新		33	47	72.6%				○	▲ 1	▲ 166.95			○			診療所を引き継ぐ事業者の有償で譲渡	0	210					
204	医療施設	国民健康保険鮎原診療所・医師住宅2	168.10	1991/1/20	新		29	47	63.8%							○		○			保留	4,860	211					
第1回の検討委員会以降、以下の施設を廃止済(除却・売却・譲与等)												○	78	○	48	▲	61	▲	30,179.26	24	○	163	32	6	計	14,929,261		
①洲本保育所、②旧中川原分団厚浜班詰所、③旧中川原分団安坂下班詰所、④山手寄附土地建物、												●	46	●	8						●	4						
⑤中川原寄附土地建物、⑥種苗生産育成施設、⑦国民健康保険鮎原診療所・鮎原健康管理センター												◎	5															
												計	129		56				24		167	32	6					
												計	209				205											

棟数、床面積増減表(集計)

2020/6/30 時点

大分類	中分類	総合管理計画			平成28～令和2年度				個別施設計画(始期)			令和3～12年度				個別施設計画(終期)		
		棟数	延床面積(m ²)	構成(%)	棟数増	棟数減	延床面積増	延床面積減	棟数	延床面積(m ²)	構成(%)	棟数増	棟数減	延床面積増	延床面積減	棟数	延床面積(m ²)	構成(%)
市民文化系施設	集会施設	25	9,203.46	3.2%	0	0	0.00	0.00	25	9,203.46	3.2%		13		3,731.37	12	5,472.09	2.1%
	文化施設	1	413.34	0.1%	0	0	0.00	0.00	1	413.34	0.1%					1	413.34	0.2%
社会教育系施設	図書館	3	4,970.80	1.7%	0	0	0.00	0.00	3	4,970.80	1.7%					3	4,970.80	1.9%
	博物館等	16	10,207.57	3.6%	0	0	0.00	0.00	16	10,207.57	3.5%		3		299.20	13	9,908.37	3.8%
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	16	29,695.94	10.5%	1	0	3.06	0.00	17	29,699.00	10.2%		5		8,780.19	12	20,918.81	8.0%
	レクリエーション施設	23	10,107.80	3.6%	1	0	55.46	0.00	24	10,163.26	3.5%		1		2,928.00	23	7,235.26	2.8%
学校教育系施設	学校	113	87,062.34	30.6%	2	0	101.82	0.00	115	87,164.16	29.8%					115	87,164.16	33.3%
	その他教育施設	3	3,134.03	1.1%	0	0	0.00	0.00	3	3,134.03	1.1%					3	3,134.03	1.2%
子育て支援施設	幼保・こども園	16	8,306.33	2.9%	2	1	1,544.83	645.94	17	9,205.22	3.2%		1		380.15	16	8,825.07	3.4%
	幼児・児童施設	1	788.88	0.3%	0	0	0.00	0.00	1	788.88	0.3%		1		788.88	0	0.00	0.0%
保健・福祉施設	高齢福祉施設	3	1,189.80	0.4%	0	0	0.00	0.00	3	1,189.80	0.4%		1		389.23	2	800.57	0.3%
	保健施設	9	5,240.75	1.8%	0	0	0.00	0.00	9	5,240.75	1.8%		1		1,432.40	8	3,808.35	1.5%
	その他社会福祉施設	8	8,217.95	2.9%	0	0	0.00	0.00	8	8,217.95	2.8%					8	8,217.95	3.1%
行政系施設	庁舎等	15	14,058.23	4.9%	2	2	10,789.90	3,189.28	15	21,658.85	7.4%		6		2,898.14	9	18,760.71	7.2%
	消防施設	38	4,786.56	1.7%	0	2	0.00	58.20	36	4,728.36	1.6%		13		626.62	23	4,101.74	1.6%
	その他行政系施設	19	6,688.28	2.4%	2	1	39.80	35.00	20	6,693.08	2.3%		5		2,873.10	15	3,819.98	1.5%
市営住宅	市営住宅	193	49,827.27	17.5%	9	3	1,632.41	488.83	199	50,970.85	17.5%		2		1,630.58	197	49,340.27	18.8%
公園	公園	46	3,658.87	1.3%	3	14	153.54	1,085.62	35	2,726.79	0.9%		3		369.64	32	2,357.15	0.9%
供給処理施設	供給処理施設	5	3,520.09	1.2%	4	0	377.80	0.00	9	3,897.89	1.3%					9	3,897.89	1.5%
その他	その他	45	10,419.25	3.7%	11	13	1,370.22	1,198.80	43	10,590.67	3.6%		5		2,884.81	38	7,705.86	2.9%
医療施設	医療施設	7	4,349.98	1.5%	0	1	0.00	1,388.82	6	2,961.16	1.0%		1		166.95	5	2,794.21	1.1%
下水道施設	下水道施設	14	8,254.06	2.9%	0	0	0.00	0.00	14	8,254.06	2.8%					14	8,254.06	3.2%
合計		619	284,101.58	100.0%	37	37	16,068.84	8,090.49	619	292,079.93	100.0%	0	61	0.00	30,179.26	558	261,900.67	100.0%



総合計画始期～個別計画始期

棟数	床面積(m ²)	
増減	0	7,978.35
増減率	0%	2.81%

総合計画始期～個別計画終期

棟数	床面積(m ²)	
増減	-61	-22,200.91
増減率	-9.85%	-7.81%

個別計画始期～個別計画終期

棟数	床面積(m ²)	
増減	-61	-30,179.26
増減率	-9.85%	-10.33%

【個別施設計画策定時基準】

現床面積に対する削減目標 (R3から25年間)	58,415.99	20%相当床面積
今後約10年間の削減目標 (R3から10年間)	29,207.99	10%相当床面積
今後10年間の削減予定床面積	30,179.26	削減達成率 103.3%

類似団体との施設数比較(H29(2017))

都道府県名	市区町村	団体コード	合併内容	人口		H27国勢調査							総合管理計画策定時の延床面積	一人当たり床面積(H27国勢調査人口)	公民館		集会施設		隣保館		市民会館		図書館		体育館		陸上競技場		野球場		プール		小学校(H28)			
				平成30年1月1日現在	人口	平均年齢	15歳未満人口	15~64歳人口	65歳以上人口	15歳未満人口割合	15~64歳人口割合	65歳以上人口割合			箇所数	延面積	箇所数	敷地面積	箇所数	敷地面積	箇所数	水面面積	箇所数	延面積	児童数	面積/人										
				人	人	歳	人	人	人	%	%	%			m ²	人	m ²																			
茨城県	かすみがうら市	82309	2町	42,413	42,147	47.2	5,172	25,216	11,693	12.3	59.9	27.8	132,169	3.1	2	4,050	57	5,347	-	-	1	1,051	2	1,291	3	4,023	-	-	1	24,201	1	325	8	33,021	2,124	16
千葉県	富津市	122262	1市	45,374	45,601	51.2	4,271	25,510	15,684	9.4	56.1	34.5	172,478	3.8	3	6,005	57	4,848	-	-	1	2,336	-	-	1	4,538	1	20,457	3	44,860	1	435	11	51,560	1,819	28
千葉県	いすみ市	122386	3町	38,787	38,594	53.0	3,691	20,186	14,679	9.6	52.4	38.1	134,478	3.5	4	2,188	29	3,773	-	-	3	7,922	-	-	1	2,098	1	57,677	4	105,046	-	-	11	39,023	1,511	26
兵庫県	洲本市	282057	1市1町	44,796	44,258	50.3	5,168	24,238	14,712	11.7	54.9	33.3	284,102	6.4	13	6,474	97	8,295	1	413	1	1,044	2	4,683	4	21,793	1	22,958	1	23,245	1	349	13	52,333	2,070	25
兵庫県	南あわじ市	282243	4町	48,139	46,912	50.3	5,760	25,404	15,679	12.3	54.2	33.5	310,109	6.6	22	26,165	187	9,967	-	-	1	499	1	2,492	7	14,595	9	121,655	-	-	2	718	16	60,524	2,423	25
兵庫県	淡路市	282260	5町	44,821	43,977	51.7	4,944	22,995	15,874	11.3	52.5	36.2	415,490	9.5	15	10,492	254	16,711	-	-	3	7,732	2	1,777	17	15,633	-	-	2	27,800	4	1,897	15	93,876	2,030	46
岡山県	赤磐市	332135	4町	44,461	43,214	48.1	5,912	23,757	13,521	13.7	55.0	31.3	245,405	5.7	8	9,847	61	5,102	2	604	-	-	4	4,674	4	11,881	1	16,335	2	37,189	2	650	12	63,114	2,368	27
徳島県	吉野川市	362051	3町1村	41,848	41,466	51.5	4,434	22,486	14,336	10.7	54.5	34.7	226,311	5.5	11	8,549	203	13,700	5	2,393	3	5,585	2	2,024	4	5,097	-	-	1	9,234	-	-	17	48,475	1,870	26
長崎県	南島原市	422142	8町	47,070	46,535	52.4	5,476	24,118	16,866	11.8	51.9	36.3	329,777	7.1	12	10,745	119	9,387	-	-	5	9,631	6	5,079	23	17,259	-	-	-	-	4	1,521	17	59,863	2,253	27
鹿児島県	指宿市	462101	2町	41,631	41,831	51.4	5,079	22,038	14,698	12.1	52.7	35.2	227,064	5.4	13	3,987	109	8,314	-	-	2	5,969	2	3,136	6	14,508	1	26,750	1	19,072	1	325	12	44,077	2,049	22
沖縄県	石垣市	472077	1市	49,392	47,564	42.5	8,639	29,602	9,067	18.3	62.6	19.2	210,753	4.4	1	720	29	3,341	-	-	1	6,636	1	2,912	1	8,492	1	29,000	1	20,866	1	1,200	20	61,690	3,487	18
類団平均				44,430	43,827	50.0	5,322	24,141	14,255	12.1	55.2	32.7	244,376	5.5	9	8,111	109	8,071	3	1,137	2	4,841	2	3,119	6	10,902	2	42,119	2	34,613	2	824	14	55,232	2,182	26

市区町村	中学校(H28)				幼稚園(H28)				保育所		認定こども園		児童館		市町村立特別養護老人ホーム		一部事務組合立特別養護老人ホーム		本庁舎		支所・出張所			保健センター		消防施設		職員公舎		公営住宅等				公園	し尿処理施設		診療所	
	箇所数	延面積	生徒数	面積/人	箇所数	延面積	入園者数	面積/人	箇所数	延面積	箇所数	延面積	箇所数	延面積	箇所数	延面積	箇所数	延面積	延面積	職員数	箇所数	延面積	職員数	箇所数	延面積	延面積	戸数	延面積	1 公営住宅	延面積	2 改良住宅	3 単独住宅	建物延面積	処理人口	年間総収集量	箇所数	病床数	
	m ²	人	m ²		m ²	人	m ²		m ²		m ²		m ²		m ²		m ²	m ²	人		m ²	人		m ²	m ²	戸	m ²	戸	m ²	戸	戸	m ²	人	kl		床		
かすみがうら市	3	28,688	1,165	25	-	-	-	-	4	5,146	-	-	3	834	-	-	-	6,942	213	1	75	6	2	1,291	2,001	-	-	-	-	-	238	2,235	1,142	-	-			
富津市	5	38,642	961	40	-	-	-	-	7	4,528	-	-	-	-	-	-	-	13,395	277	2	31	9	-	-	5,544	-	-	173	7,540	-	-	3,820	5,909	3,815	-	-		
いすみ市	3	24,753	835	30	-	-	-	-	10	9,727	-	-	2	681	-	-	-	3,154	219	2	3,355	18	3	2,194	2,974	-	-	233	9,978	-	-	728	4,023	3,131	-	-		
洲本市	5	32,371	1,089	30	5	2,188	143	15	9	5,433	-	-	2	643	1	2,627	-	-	10,122	262	3	1,265	13	1	1,240	4,612	2	183	631	50,729	-	62	17,505	5,884	2,915	5	38	
南あわじ市	6	31,859	1,350	24	3	1,399	97	14	11	8,343	1	491	1	238	-	-	-	8,503	315	1	79	1	1	1,229	-	-	744	46,771	-	-	20	8,399	2,268	3,965	5	-		
淡路市	5	20,787	1,109	19	-	-	-	-	9	5,644	3	3,786	-	-	-	-	-	8,230	309	4	7,339	26	3	3,845	6,102	-	-	1,463	113,509	178	46	5,960	4,428	1,546	3	19		
赤磐市	5	39,238	1,245	32	6	5,641	331	17	5	3,298	-	-	1	545	-	-	0	1,890	3,704	218	5	8,481	45	1	452	4,749	-	-	309	14,268	-	4	11,978	6,297	6,622	3	-	
吉野川市	6	27,500	1,056	26	14	4,495	227	20	2	1,007	2	5,585	4	1,068	-	-	0.5	1,104	9,402	214	4	752	49	-	-	2,713	-	-	808	47,247	74	21	666	1,289	515	-	-	
南島原市	8	46,096	1,223	38	1	726	16	45	2	652	-	-	-	-	-	-	-	9,545	347	5	5,044	56	6	4,449	4,884	-	-	883	55,892	-	27	1,006	23,247	28,248	-	-		
指宿市	5	31,765	1,063	30	-	-	-	-	1	310	-	-	1	299	-	-	-	5,116	227	3	4,698	48	2	1,477	2,511	-	-	736	50,051	-	52	5,246	6,241	4,798	-	-		
石垣市	9	32,043	1,531	21	18	6,117	637	10	7	2,309	2	1,048	1	197	-	-	-	3,744	342	-	-	-	1	4,657	2,656	-	-	180	14,149	-	-	18,826	-	-	-	-		
類団平均	5	32,158	1,148	28	8	3,428	242	20	6	4,218	2	2,728	2	563	1	2,627	0	1,497	7,442	268	3	3,112	27	2	2,315	3,875	2	183	616	41,013	126	33	6,761	6,182	5,670	4	29	